

ビコンディスクモア EX117/122/124 取り扱い説明書

作業機を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前にかならずお読みください。

この取扱説明書は、いつまでも大切に保存してください。

目次	1	洗淨	41
取扱説明書のねらい	3	洗淨後	41
シンボルの意味	3		
安全	4	駐車および保管	42
安全に使用するために	4	保管の前に	42
機械の操作方法	7	駐車／機械の取り外し	42
装着	7	保管	43
走行能力	9	メンテナンス	47
		安全のために	47
機械の使用にあたって	11	基本事項	48
取り外し	12	メンテナンススケジュール	49
メンテナンス	13	PTO シャフトの点検	50
更なる安全のために	14	潤滑	51
機械について	15	保守・点検	52
機械の特性	16	ギアボックスの保守・点検	54
概要	17	ナイフの保守・点検	55
テクニカルデータ	18	カッティングディスクの保守・点検	58
トラクターの適応条件	19	コーンの保守・点検	60
		ストーンガードとナイフの保守・点検	62
		V ベルトの保守・点検	64
準備	20	交換	67
機械の準備	20	カッターバーのオイル交換	67
		ギアボックスのオイル交換	69
組み立て 取り付け	21	ナイフの交換	73
トラクターへの装着	22	カッティングディスクの交換	75
油圧	30	ストーンガードとカウンターナイフ	77
機械を作動させる前に	31	V ベルトの交換	79
移動ポジション	32		
		別売りオプション装備	84
操作	33	トラブルシューティング	88
安全	33	技術情報	89
操作の前に	34		
刈り高さ	35	換算表	89
圃場作業	36		
のり面作業	38	オイルの種類	89
枕地旋回	38		
安全装置	39	締め付けトルク表	89
保護ガード	39		
クリーニング	40		
洗淨の前に	40		

取扱説明書のねらい

本機を使用するオペレーターや保守・管理作業をおこなうサービスマンはこの取扱説明書をよく読み、内容を理解してください。

安全のため

本機を使用する前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

使用者のために

本機を使用するすべてのオペレーターは、定期的に本取扱説明書を参照し使用方法について確認する必要があります。本取扱説明書の内容を理解していない人は、この機械を使用することはできません。

本機の操作方法等について不明な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店の担当者までお問い合わせください。

シンボルの意味

本書では、説明を簡潔にするため、共通シンボルを使用します。

- = リストを表します
- = オペレーターが行う必要のある動作を表します
- = 本書の他の部分を参照しています

注意! = 特に注意を必要とすることを示します。



= 組み立ておよび設定するためのヒントを示しています。



= 安全上重要なポイントを示します。表記内容を見落とすと以下の事案が発生する恐れがあります。

- 作業機に重度な不具合が生じる
- 作業機の破損
- 重大な傷害事故/死亡事故



= 正確な使用方法の例を示しています。



安全に使用するために

この章では、一般的な安全性に関することを説明します。さらに、本書の各章では、ここに記載されていない固有の安全性に関する指示が含まれています。安全のための指示を守ってください。

- ・オペレーター自身の安全のために
- ・周囲の人/物の安全のために
- ・機械の安全性確保のために

本機を誤って使用すると、様々な危険をもたらすおそれがあります。常に慎重に作業してください。



安全ステッカー



① 本機を作業する前にはトラクターを停車させてください

本機の修理およびメンテナンスを行う前には必ずトラクターのエンジンを止め、エンジンキーを抜いてください



② 取扱説明書をよく読み、規則を順守してください

本機を使用する前にこの取扱説明書をよく読み内容を理解してください。



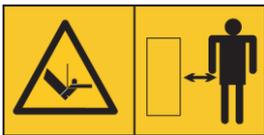
③ 回転部に身体の一部が巻き込まれないようにしてください

本機が作動している間は、保護ガードを取り外したり、開けたりしないでください。PTOを停止し、トラクターのエンジンを停止し、エンジンキーを抜き、駐車ブレーキをかけてから本機に近づいてください。



④ 石・れきなどが跳ね上がる危険性があります

作動中の本機からは安全な距離を保ってください。作動中は本機に近づかないでください。保護ガードが破損していたら、新しいものと交換してください。



⑤ 足にけがを負う危険性があります

本機が作動しているときは安全な距離を保ってください。



⑥ 指にけがを負う危険性があります

機械の回転が停止するまで手を触れないでください



⑦ トラクターが転倒する恐れがあります

トラクターが走行中転倒する危険性があるので、トレッド幅は少なくとも 1500mm でなければいけません



⑧ トラクターと作業機の間に入らないで下さい

不意にトラクターが動き出し、作業機との間に挟まれて重傷を負う恐れがあります。



⑨ 作業機の下に入らないで下さい

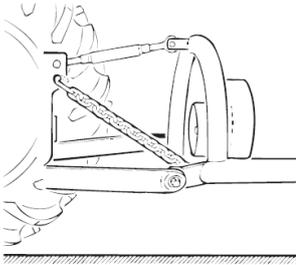
不意に作業機が下がり、重大な傷害事故の原因となる恐れがあります。



機械の操作方法

本機を使用するオペレーターは、この説明書をよく読み内容を理解してください。

装着



トラクターへの正しい接続方法

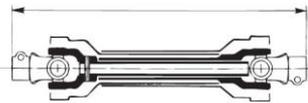
トラクターへの装着は本書に従って正しく行ってください。

装着が適切に行われていないと、作業機はトラクターから脱落する恐れがあります。また、誤った装着は、事故につながる可能性があります。

トラクターに作業機を装着するためには：

- ・トラクターを輪留めなどで固定してください
- ・トラクターと本機が同じカテゴリに属していることを確認してください
- ・トラクターと本機の間に入り込まないでください
- ・慎重に3点リンクを操作してください

上記の手順に従うことで、不意な傷害事故を未然に防ぐことができます。



PTO シャフトのチェック

PTO シャフトと同梱の安全に関する説明書を参照してください。

電装品の取付け

照明装置などの電装品を装着する場合は、トラクターからの電源供給をオフにする必要があります。これによりショートと電気回路の損傷を防ぐことができます。ショートが生じると、火傷やその他の重大な怪我の危険があります。



減圧させた状態で油圧装置を接続する

トラクターと作業機両方の油圧回路が減圧されている状態で、トラクターに油圧ホースを接続してください。圧がかかった状態で油圧ホースを接続すると、作業機が不意に動き出す危険性があります。

油圧回路は定期的にチェックする必要があります



すべての油圧ホースおよび油圧の接続箇所は、目に見える損傷がないか定期的にチェックする必要があります。油圧ホースは、丁寧に扱ってください。摩耗・損傷のある油圧ホースは、けがや火災の原因となる恐れがあります。

油圧接続のカラーマーキング

トラクターと作業機の油圧接続を色分けする必要があります。油圧接続を色分けすることにより、機械の誤った操作を避けることができます。作業機の誤操作や誤作動は、重大な傷害事故につながる恐れがあります。

総重量、アクスル荷重、タイヤの許容重量、最小重量の遵守



トラクターの総重量、アクスル荷重、タイヤの運搬容量は、フロントマウントとリアマウントのどちらも超過することはできません。フロントアクスルは、安定した操舵を確保するためにトラクター自重の少なくとも20%の重量がかかっている必要があります。

これを守らない場合、安全に操舵ができず事故に繋がる恐れがあります。

PTO シャフトの周囲で作業するときは注意してください



PTO シャフトを脱着する場合、トラクターのエンジンを停止しエンジンキーを取り外す必要があります。

これにより PTO シャフトが不意に回転するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが指示に従って接続されていない場合は、重大な傷害事故が発生する恐れがあります。

機械とトラクター間の重量/出力レシオ



本機に適応した出力と重量を持つトラクターを使用してください。

トラクターのサイズや PTO シャフトは、本機に適したものである必要があります。誤った重量/出力レシオは、機械とトラクターの両方が損傷する恐れがあります。



機械を正常に稼働させるため、オペレーターは慎重に機械の操作をしてください。
取扱説明書をよく読み、安全に使用してください。



しっかり取扱説明書を読まないと、事故や誤った使用方法になる可能性があります。



機械は技術的な欠陥が無いか確認してください。

技術的欠陥を持っていない場合にのみ機械を使用してください。

技術的欠陥や欠陥を持つ機械は使用を避けてください。



保護ガードを取り外さないで下さい。

すべての保護ガードは使用前に所定の場所にあることを確認してください。

安全ガードが取り付けられていない場合、深刻なけがや事故の原因となります。



定期的にトラクターのタイヤの空気圧をチェックしてください。

トラクターのタイヤ空気圧の定期的なチェックを行ってください。

これは、トラクターが傾くことを防ぎます。

トラクターが傾くと事故につながる可能性があります。

機械への過剰乗車は危険かつ違法であり、禁止されています。

機械は人の輸送のために使用することは承認されていません。

機械に乗った人の、重傷や死につながる可能性があります。

機械の使用を開始する前に周囲を確認してください

機械を使用する前に、周辺エリアをチェックする必要があります。
周辺のエリアがチェックされていない場合、
人や動物への傷害につながる可能性があります。



機械から十分に離れてください。

機械の作動中、周囲に近づかないで下さい。



可動部分のボルトのチェック

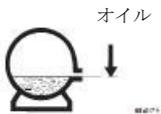
可動部品上のすべてのボルトが正しく締められていることを確認してください。
部品が緩んだ状態で作動すると、機械を損傷する可能性があります。



機械の PTO 回転数を一定に保ってください。

本機は PTO 540rpm 仕様の作業機です。

この回転数以外には適応していません。規定外の PTO 回転数は作業機の破損の原因になり、近くにいる人の危険になります。



定期的にトランスミッションオイルレベルをチェックしてください。

油のレベルが正しいこと、満たされていることを確認してください。

誤ったオイルレベルは、トランスミッションを損傷する原因となります。



故障の場合には直ちに機械を停止させてください。

作業機の故障は周囲の人や動物にとって危険です。

停止しないと作業機が誤作動する危険な状況が発生する可能性があります。



取り外し

トラクターから機械を取り外すときは、怪我をするリスクが高まります。
トラクターから作業機を取り外すときは、怪我をする危険性があります。
下記の手順を守り、安全を確保して取り外しを行ってください。
下記の指示に従わないと、重傷を負うことがあります。



取り外し方法

- トラクターに輪留めをかけ、不意に動き出さないようにしてください。
- 取り外す時はトラクターと機械の間に立ってはいけません。
- ゆっくりと慎重に三点リンクを操作します。
- 機械が安全に着地していることを確認します。
- トラクターと機械の両方で油圧システムが減圧されている時に、油圧ホースを外します。

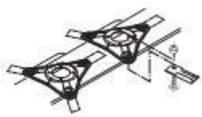
メンテナンス



定期的に、手順書に示された点検、修理を行ってください

定期的にメンテナンスすることで、作業機の故障を防ぎ、環境に最大限の保護を与えることを保証します。

メンテナンスを疎かにすることは、作業機や周囲の人にとって危険です。



常にオリジナルのスペアパーツ（純正品）を使用してください

安全上、オリジナルのスペアパーツを使用してください。

非純正部品が使用されている場合、製造保証は無効になります。



サービスや保守作業を行うときは

修理または保守作業を行うときに怪我をする恐れがあります。

下記の手順を守り、安全に行ってください。

下記の指示に従わないと、重傷を負うことがあります。

保守作業を実行するとき：

- トラクターのエンジンを停止します
- P.T.O シャフトを外します
- 油圧システムを減圧します
作業機が安全に駐機されていることを確認し、安定性を確認してください。
- 作業機に上る場合は適切な台、脚立などを使用してください。

電気回路を作業するときはメイン電源を OFF にしてください。

電気系統の作業を開始する前に、必ずメイン電源を切って下さい。

電気回路のショートによる損傷を防ぐことができます。

電気回路のショートは火傷やその他の重大な怪我に繋がる危険があります。

油圧ホースの交換

少なくとも4年に一度は油圧ホースを交換してください。

油圧ホースは、目に見えなくても磨耗します。

欠陥のある油圧ホースは、重大な傷害を引き起こす可能性があります。





高圧洗浄器使用の際はお気をつけください。

本機を洗浄する際は、電子制御ボックスや電子部品周辺で高圧洗浄器を使用しないでください。本機の精密部品に損傷を与える恐れがあります。

作業機に溶接を施す場合はバッテリーとオルタネータの接続を解除してください。

トラクターのバッテリーとオルタネータは、溶接を行う前に接続を解除してください。

これによりトラクターのオルタネータが保護されます。

万が一電気接続が溶接時に解除されていない場合、

トラクターのオルタネータが故障する危険性があります。

可動部のすべての金具を増し締めしてください。

メンテナンス後に、可動部のボルト、ナットを増し締めしてください。しっかり締める事で、騒音や不意な部品の脱落を防ぎます。

正しい工具で締め付けないと、機械が故障する危険性があります。



機械を改造しないでください

機械の基本構成は変えないでください。また、長くお使いいただくためにメンテナンスをしっかりと行ってください。

整備不良であると長持ちせず、また危険です。



更なる安全のために

機械を使う場合は、説明書に従ってください。

使用者や周囲の人の安全のために、機械の安全指示は必ず守ってください。

これに従わないと、大きな事故やけがのもととなります。



安全指示以外に、次の事を遵守して下さい。

- ・環境に関する法律
- ・技術に関する一般的な事、道路法規制
- ・この取扱説明書の指示
- ・使用、保守、サービスに関する指示

作業機について



この章では、作業機に関する一般的な情報が含まれています。
さらに、次の情報が含まれています。

- ・ 本機の使用方法
- ・ 本機の特長
- ・ 寸法表
- ・ テクニカルデータ

本機の使用目的

117-122-124 は、草を巻き取り、芝や穀物を刈りとり、スワースを形成することを目的としたモアーです。

使用方法は、次の章に記載されています。

本機の適切な使用方法

本機は、次の作物の刈り取りに使用することができます。

- ・ 飼料用牧草一般
- ・ クローバー類
- ・ ホールクropp
- ・ アルファルファ

本機の不適切な使用法

本機の使用は、どのような条件下においても、以下の場合には推奨しません。

- ・ 公園施設における草刈り
- ・ 公道の路肩の草刈り
- ・ トウモロコシの収穫
- ・ ソルガムの収穫
- ・ 森林の林床の整備
- ・ 生垣や低木の刈り込みや剪定

本機は、このような使用には適応していません。

当社は、作業機の不適切な使用により生じるいかなる損害についても責任を負いません。
(ユーザー側に責任が求められます)

作業機について

本機の特徴

概要

117-122-124 はトラクターの右側で作物を刈り取りする、トラクター直装式ディスクモアです。カッティングユニットは、トラクターのローリングのヒッチに接続されます。正確に地面に沿って均一に作物をカットするカッターバーを固定する、強固なスプリングによって、カッティングユニットのバランスが保たれます。カッティングディスクは、耐久性に優れたリバーシブルナイフを使用しており、高速回転で刈り取りの難しい作物への使用に際し、高い能力を発揮します。刈り取り速度が早くても、きれいに且つ均一に作物を刈り取ることができます。安全上の理由から、速度は15km/時以下を推奨します。障害物から保護する「ガード」がモアユニットに取り付けられています。ガードは、本体から外さず、常に良好な状態を保ってください。

頑丈な構造

強固な構造と柔軟な構成により、様々な作業条件でも高い強度と信頼性を実現しています。

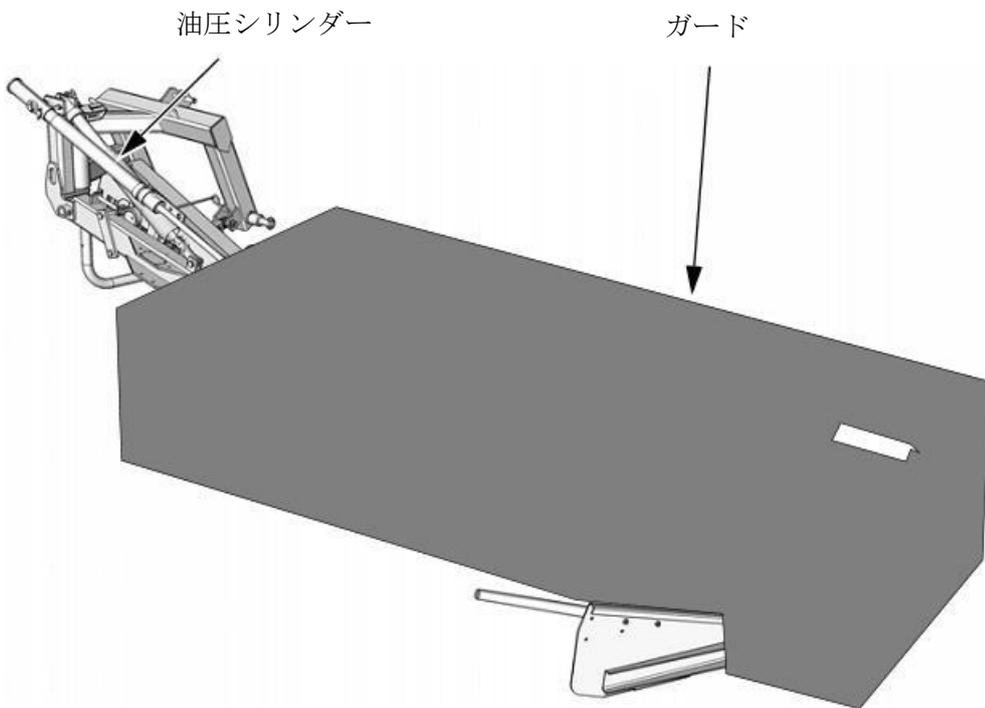
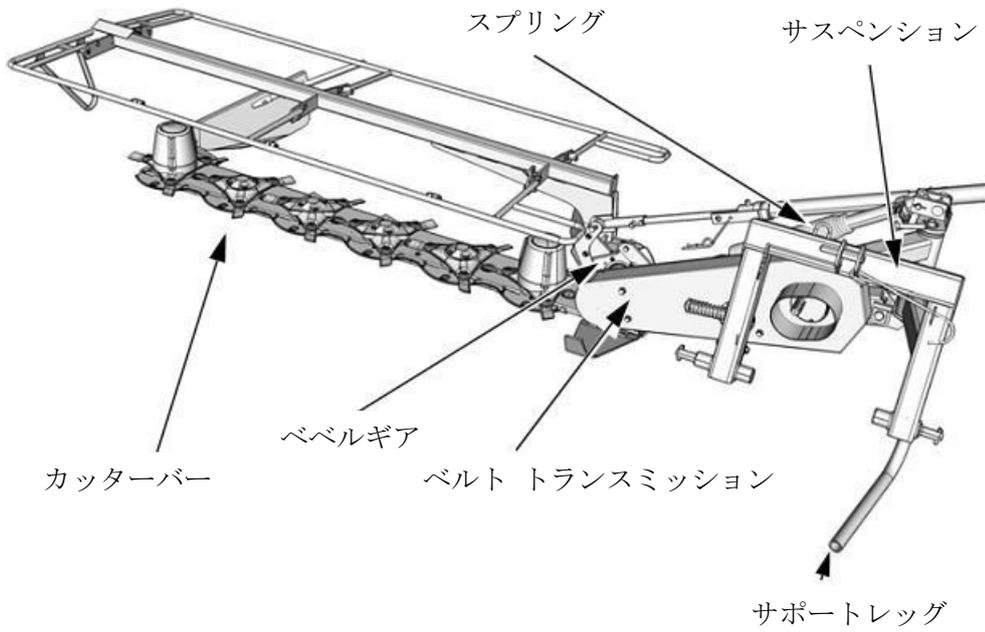
トラクター油圧操作ですばやく簡単にカッターバーをヘッドランドポジションに(枕地旋回)枕地旋回時は、トラクター油圧操作でモアユニットを簡単に旋回ポジションまで持ち上げることができます。

使用時における安全

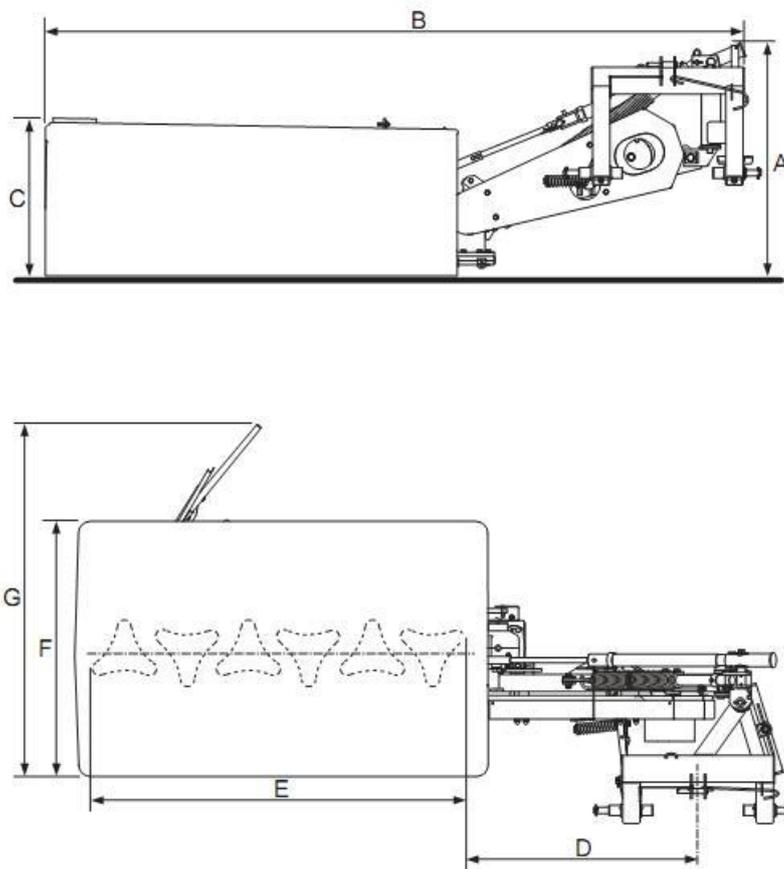
本機の使用時において、出来る限りの安全を保障するため、安全性能は製造国の規制に準拠しています。機械にはCEマークが表示されています。

作業機について

概要



寸法



寸法	単位	117	122	124
A	mm	910	910	910
B	mm	3240	3740	4000
C	mm	700	700	700
D	mm	1270	1270	1270
E	mm	1700	2200	2400
F	mm	1200	1200	1200
G	mm	1700	1700	1700

作業機について

スペック

	単位	117	122	124
重量	kg	390	430	450
PTO	rpm	540	540	540
所要馬力	kW / HP	26 / 36	30 / 42	33 / 46
PTO シャフト		標準	標準	標準
カッティングディスク数	枚	4	6	6
ナイフ数	枚	12	18	18
カッティングディスク回転数	rpm	3000	3000	3000
刈り高	mm	20～50*	20～50*	20～50*
刈り幅	m	1.65	2.15	2.4
油圧	bar	180	180	180
騒音レベル	* dB(A)	85	85	85
刈り取り速度	km / h	6～15	6～15	6～15
移動幅	mm	1200	1200	1200

*別売オプションのハイスキッド装着時。

→「刈り高さ」 p38 参照

→「別売りオプション」 p83 参照

トラクターの適応条件



トラクターの重量とサイズ

適切な重量のトラクターを使用してください。

トラクターとディスクモアの最適な重量バランスによって、ブレーキ機能と操縦性を確実なものにします。

トラクターとディスクモアの不適切な組み合わせは、危険な状況へつながる可能性があります。

注意 トラクターの三点ヒッチで持ち上げて機械の下に適切な隙間を取ると、リフトアームを少なくとも地上 510 mm まで持ち上げる事ができます。

→作業高さ 29 ページ参照

準備

機械の準備

機械は輸送のため、コンポーネント毎に分割されています。
機械は、付属の組み立て書に従って組み立ててください。

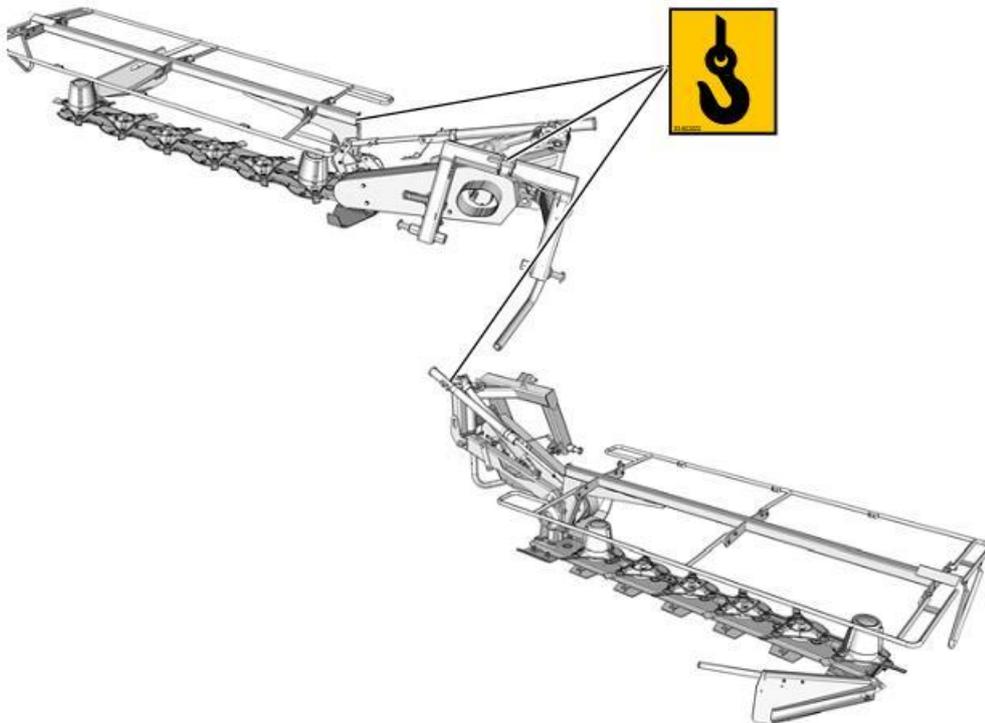


作業機の初回装着

初めて機械を装着するときは注意して下さい。
身の安全を守るため、安全に関する指示はすべて守ってください。
これに従わないと、思わぬ事故やけがにつながります。

クレーンリフトの安全に関して

認可されたリフト装置を使用して下さい。
安全のため、機械に正しく取り付けられたリフト装置に限り、使用して下さい。
これに従わないと、思わぬ事故やけがにつながります。
機械の無負荷状態の重量→「スペック」p20 参照



組み立てと取り付け



トラクターと作業機の装着

本機をトラクターに装着する際、けがの危険性が高まります。
安全に関する指示に注意する事で、ユーザーや周りの人・物の安全を保証します。
これに従わない場合、深刻な事故を起こす可能性があります。

作業機をトラクターに装着する時は、以下の事に注意して下さい

- ・トラクターが不意に動き出さないことを確認
- ・作業機とトラクターが同じカテゴリであることを確認
- ・装着している間、本機とトラクターの間に立たない
- ・油圧3点の操作はゆっくりと慎重に行う

作業機の装着

トラクターに作業機を装着する際、傷害事故のリスクが高まります。
義務を守る事で、ユーザー及び周囲の安全が確保されます。
守らない場合、大きなけがのもととなります。

作業機装着時、以下の事を守ってください。

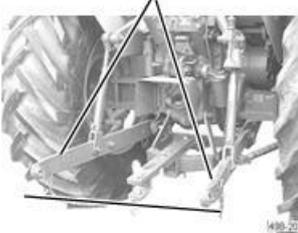
- ・作業機は平らな場所に置いてください
- ・作業機は丈夫なサポートでしっかりと固定して下さい。

組み立てと取り付け

トラクターへの装着



ローワーリンク



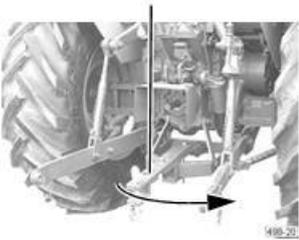
トラクターのローワーリンクの固定

ローワーリンクを適切な高さに固定してください。

適切に固定されていないと、ローワーリンクが上下に動いて PTO シャフトが損傷したり近くにいる人がケガを負ったりする可能性があります。

- 左右のローワーリンクを同じ高さになるように調整してください。

スウィングドローバー



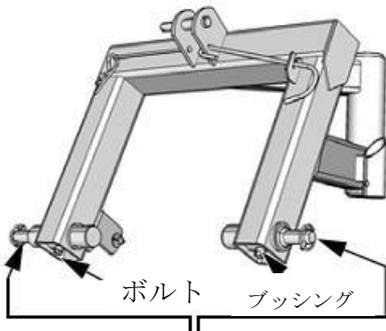
- スウィングドローバーを横に動かすか、または取り外してください。

- トラクターのローワーリンクを上げ下げして、本機のローワーリンクピンがトラクターのローワーリンクに取り付けられるようにしてください。

本機には位置調整可能なローワーリンクピンが取り付けられています。

ローワーリンクピンの交換手順

- 適切な道具を使い、ローワーリンクピンのボルトを緩める
- ローワーリンクピンを交換する
- ボルトを取り付け、しっかりと締める

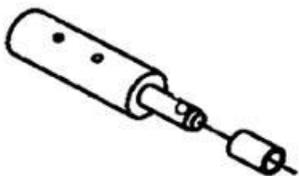


リンケージピン

ローワーリンクピンについて

→カテゴリ 1 p23 参照

→カテゴリ 2 p23 参照



注意 EX117 は、カテゴリ 1 のリンケージピンが装備されています。

ブッシングが使用されている場合は、カテゴリ 2 のリンケージピンを使用することもできます。

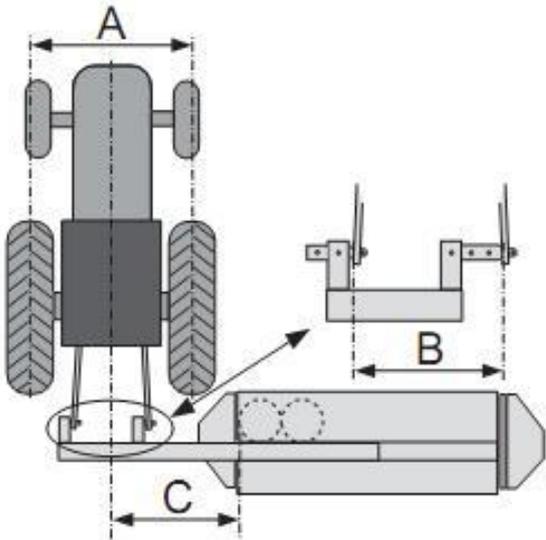
組み立てと取り付け

カテゴリ 1

EX117のみ

次に示すセッティングでは、

ローリンクピンを取り付け部に取り付けてください。

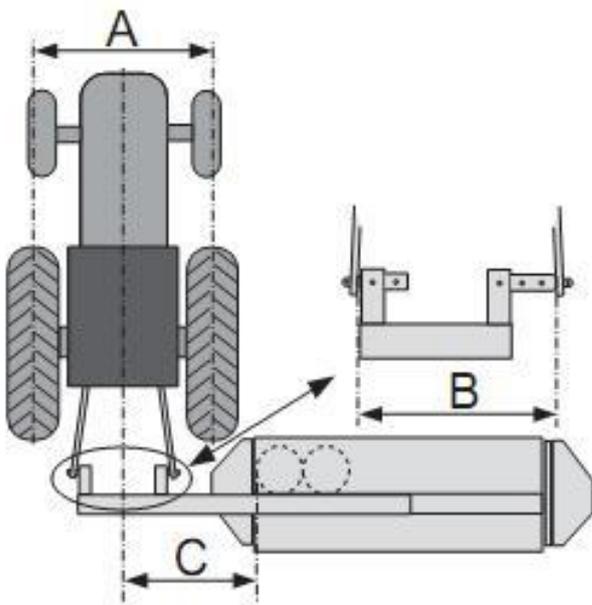


A(最小値)	B	C
1500mm	684mm	926mm

A 標準寸法	ローリンクピン(左)	ローリンクピン(右)
1500mm	ローリンクピン(短)	ローリンクピン(長)

ローリンクピンは、図に示すように、ローリンクがトラクターの右側に結合するように取り付けます。

カテゴリ 2



A(最小値)	B	C
1500mm	825mm	998mm

A 標準寸法	ローリンクピン(左)	ローリンクピン(右)
1500mm	ローリンクピン(短)	ローリンクピン(長)

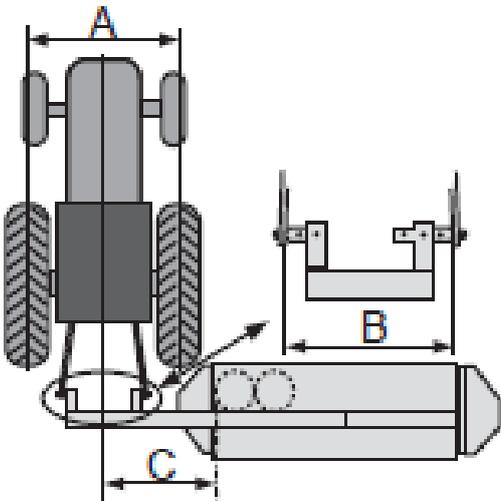
トラクターに本機を装着するため、次のようにローリンクピンを取り付けます。

- ◆ トラクターのローリンク左側：結合フレームにより左側に取り付ける
- ◆ トラクターのローリンク右側：結合フレームにより右側に取り付ける

EX122/124 のカテゴリ 1 ローリンクピンは、別売りオプション部品となります。

「別売りオプション」 p83 参照

組み立てと取り付け



A(最小値)	B	C
1600mm	825mm	1048mm

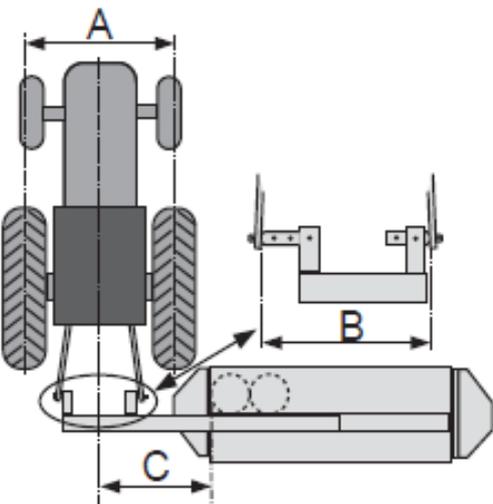
A 標準寸法	ローリンクピン(左)	ローリンクピン(右)
1600mm	ローリンクピン(短)	ローリンクピン(長)

トラクターに本機を装着するため、
次のようにローリンクピンを取り付けます。

- ◆ トラクターのローリンク左側：結合フレームにより左側に取り付ける
- ◆ トラクターのローリンク右側：結合フレームにより右側に取り付ける

EX122/124 のカテゴリ 1 ローリンクピンは、
別売りオプション部品となります。

「別売りオプション」 p83 参照



A(最小値)	B	C
1700mm	825mm	1098mm

A 標準寸法	ローリンクピン(左)	ローリンクピン(右)
1700mm	ローリンクピン(長)	ローリンクピン(短)

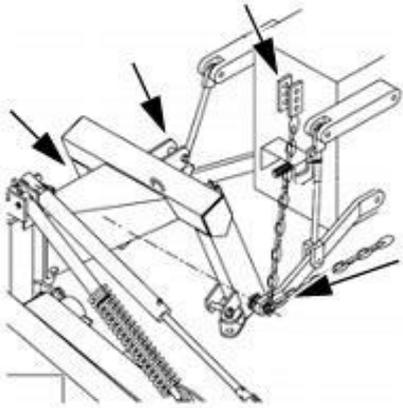
トラクターに本機を装着するため、
次のようにローリンクピンを取り付けます。

- ◆ トラクターのローリンク左側：結合フレームにより左側に取り付ける
- ◆ トラクターのローリンク右側：結合フレームにより右側に取り付ける

EX122/124 のカテゴリ 1 ローリンクピンは、
別売りオプション部品となります。

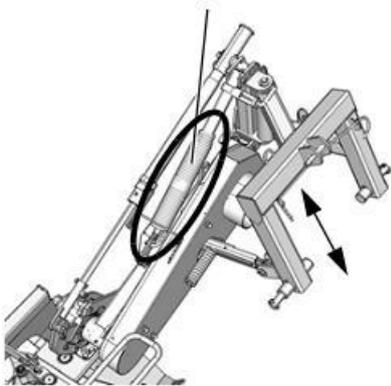
「別売りオプション」 p83 参照

組み立てと取り付け

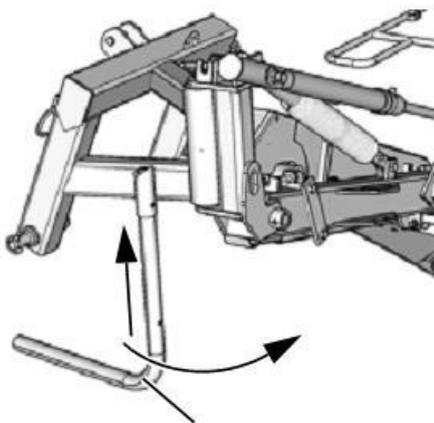


- ▶ トラクターの3点リンクに本機を接続します

スプリング



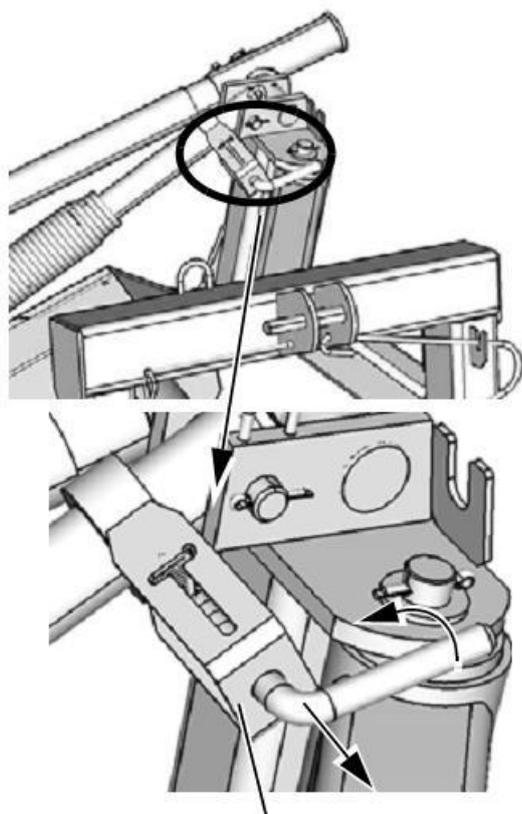
- ▶ トラクターのローワーリンクを動かして、スプリングが伸びるまでヒッチを上げます。



サポートレッグ

- ▶ サポートレッグを回し、上へ持ち上げます
- ▶ サポートレッグをピンで固定します。

組み立てと取り付け



- パーキングキャッチを外して下さい。

パーキング キャッチ

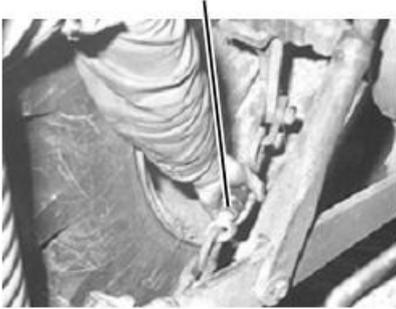
組み立てと取り付け



作業機の装着

作業機を装着する際、けがのリスクが高まります。
安全に関する指示に注意を払う事で、
ユーザーや周囲の人の安全が保障されます。
これに従わない場合、深刻な傷害に繋がります。

スタビライザー チェーン



作業機の装着時には、

トラクターと本機が離れないようにしてください。

- 作業機を地面から確実に持ち上げてください。
- トラクターのスタビライザーチェーンを締めてください。



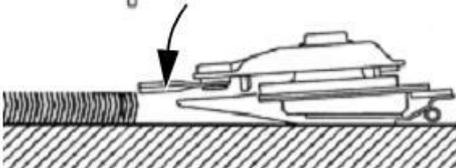
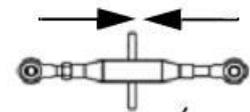
重心が傾くので、トラクターの3点リンク左側を通常よりきつく締め、可能な限り本機を左側にひっぱってください。



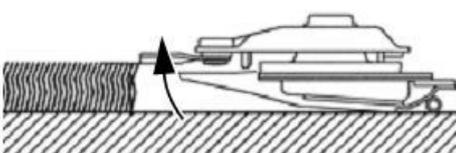
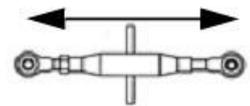
- PTO シャフトをトラクターに取り付けてください。
- PTO シャフトのフリーホイール側を、作業機に取り付けてください。

注意

PTO シャフトを点検し、切断する場合には、
PTO シャフトと同梱の製造元指示書を参照してください。



- トラクターの油圧取り出しに油圧ホースを接続します
- 本機を地面に降ろします
- トップリンクを希望の刈り高さに合わせます

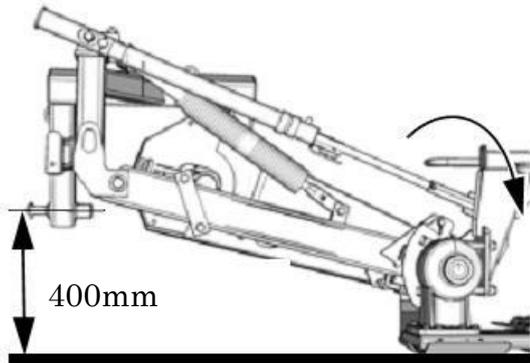


- ◆ トップリンクを短くすると刈り高さは下がります
- ◆ トップリンクを長くすると刈り高さは上がります

→「刈り取り高さ」 p38 参照

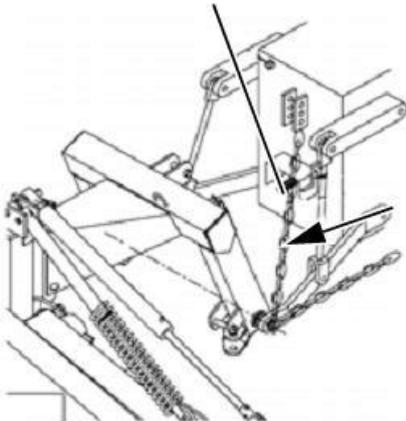
組立と取り付け

作業高さの調整



- ▶ 機械のカッティングユニットは可動式です。
- ▶ トラクターの外部油圧は解放したままにしなければなりません。
- ▶ 左図の数値になるように昇降させます。

チェーン

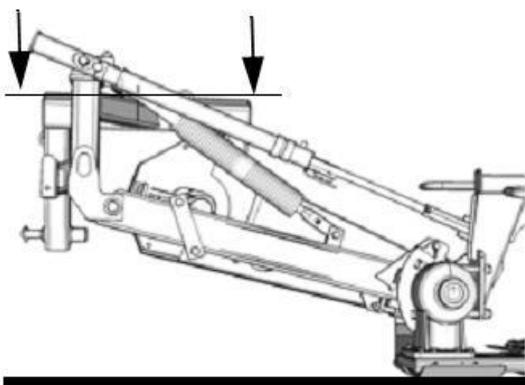


注意

- ▶ 左図に従って適当な長さのチェーンでリンケージを固定します。

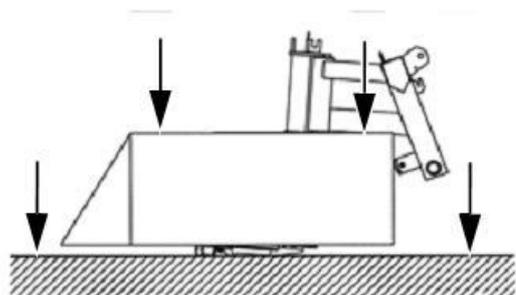
別売オプションのハイスキッドを使用する場合は上記高さが 440-470mm になるように調整してください。

→「別売りオプション」 p83 参照



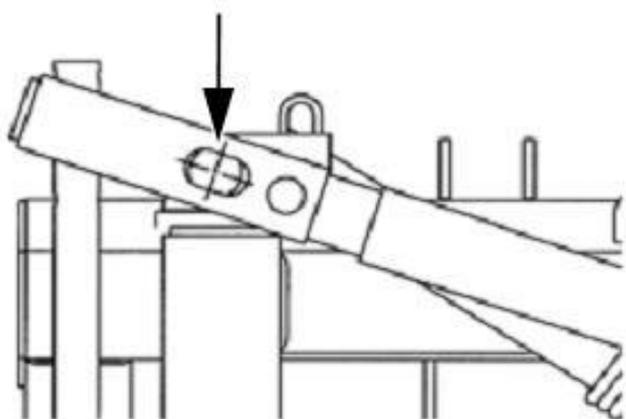
- ▶ 作業機の 3 点マストが地面に対して水平になっていることを確認してください。

組立と取り付け



- ▶ 保護ガードの確認として地面と平行になります
- ▶ 必要ならその保護ガードを回し、トップリンクと地面が平行になるように回します。

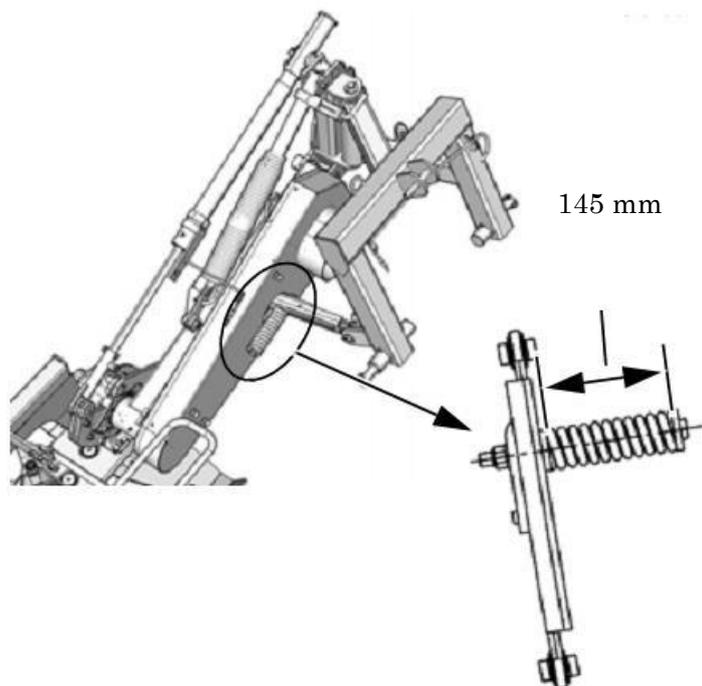
モデル 124 のみ



フローティング油圧回路の無いトラクターを使用する場合は下記の要領で装着してください。

- ▶ 数秒間トラクターの油圧を操作して、左図のピンがシリンダー上部の長穴の中央にあることを確認してください。

安全装置の調整



本機には障害物に接触したときにモアユニットを破損から守るための安全装置が装着されています。岩などの障害物にモアユニットが接触したとき、モアユニットを後方にスイングさせてダメージから機械を守ります。安全装置のスプリング長が左図の値になっていることを確認してください。

組立と取り付け

油圧

安全



油圧システムが減圧された状態で油圧ホースを接続する

油圧ホース接続時はトラクターと作業機の油圧システムが、減圧されているか確認してください。作業機が不意に動き出すことがあるため危険です。作業機の動作に注意しないと深刻な傷害事故の原因となります。

複数のトラクターで機械を使用する場合は使用する作動油の油種に注意
異なる油種の作動油を使用すると、不具合を引き起こす恐れがあります。

油圧装置や油圧ホースは定期的に点検してください

油圧ホースは消耗品なので目に見えず損傷している恐れがあります。磨耗や損傷したホースは怪我や出火の原因になります。

油圧ホースのカラーマーキング

油圧ホースやトラクターの油圧取り出しにカラーマーキングをしてください。カラーマーキングをすることで、本機の誤った操作を防ぐことができます。

油圧関係

誤った油圧接続は、深刻な障害事故の原因となる恐れがあります。説明書の内容に沿って油圧接続を行ってください。基準に従って油圧を接続しないと深刻な傷害事故につながります。

移動時は油圧の安全ロックをかける

移動時にトラクターの油圧操作はしないで下さい。不意に作業機が動き出し、重大な傷害事故を招く恐れがあります。

組立と取り付け

油圧の接続

トラクターには単動 1 系統の油圧取り出しが必要です。

トラクターの油圧取り出し	機能
単動 1 系統	モアユニットの昇降

- トラクターに油圧ホースを接続してください。

作業機を作動させる前に



作業機の試運転は重要です。

初めてトラクターに機械を接続する時は試運転をしてください。

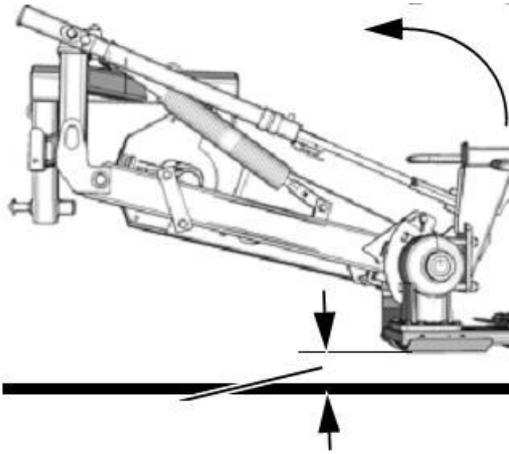
安全意識を持って注意することであなたや周囲の人の安全は保証されます。

安全意識を持たずに作業をすれば深刻な傷害事故の原因となります。

- トラクターの 3 点リンクを操作して本機を持ち上げてください。
- 本機を正規の作業位置に調整してください。
- トラクター PTO を接続する時は注意してください。
- PTO 回転数をゆっくりと 540 回転まで上げてください。
→ 「機械の説明書」 20p 参照
- 異常な振動がなく、滑らかに回転するか確認してください。
- ゆっくりと PTO 回転数をアイドル状態に戻してください。
- トラクターの PTO 駆動を止めてください。
- ロープを引きながらトラクターの油圧操作で本機を移動ポジションにしてください

組み立てと取り付け

移動ポジション

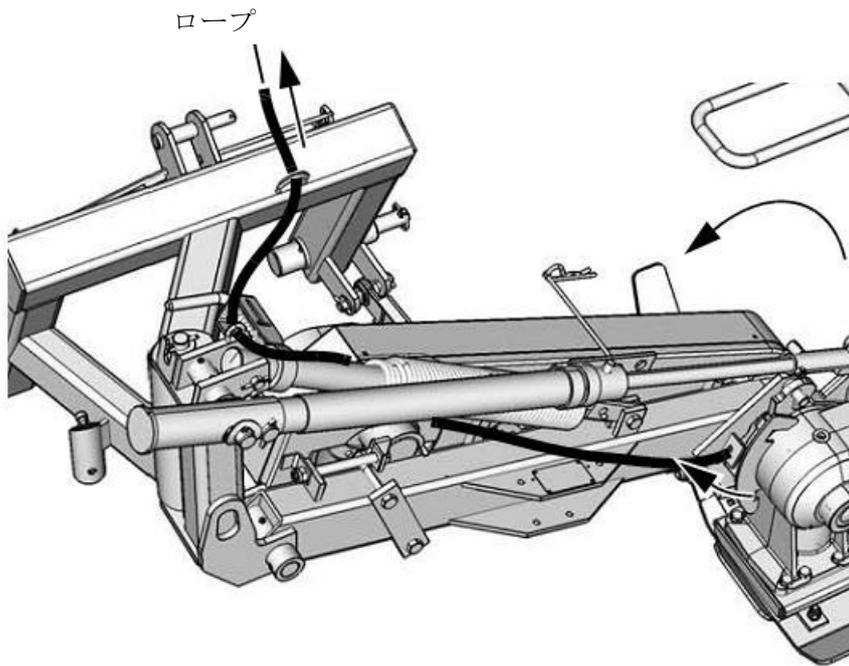


最低 100mm

作業機を使用する前に周囲を確認してください。
運転や作業をする前に周囲に人や動物がいないかよく確認してください。
確認を怠ると周囲の人や動物に危害を加える恐れがあります。

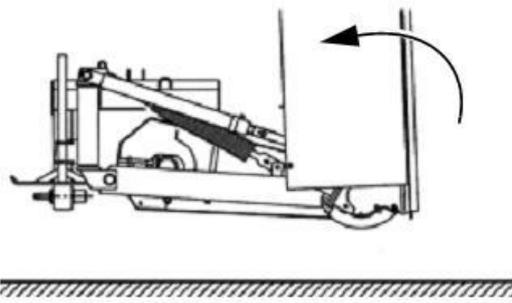
下記の方法で機械を輸送位置に運んでください。

- ▶ トラクターのローリンクを動かし地面から最低でも100mm 浮かせてください。



- ▶ ロープを引っ張り、シリンダーロックを外してください。

組み立てと取り付け

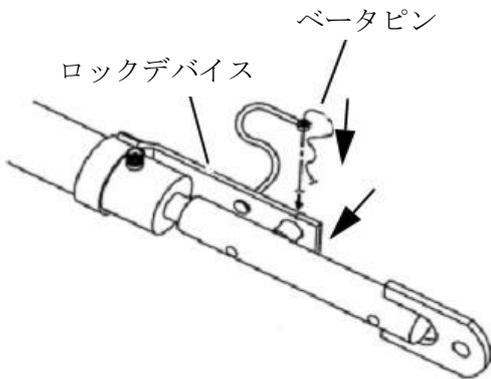


- トラクターの油圧を使ってモアユニットを移動ポジションになるまで持ち上げます。
- モアユニットを半分ほど持ち上げたらロープをはなしてください。
- 油圧システムを減圧してください。

注意！

作業機が移動ポジションになったら、油圧回路を減圧してください

- トラクターのアームを下げた作業位置に固定されたら油圧を固定してください。
- トラクターの油圧システムは動かさないでください。
- 本機の油圧シリンダーのロックキャッチにロックデバイスが正しく取り付けられているか確認してください。



- ロックデバイスを取付けたら、ベータピンで留めます

操作

安全



機械を使う前に注意しましょう。

オペレーターは機械を使う前に十分な知識を持たなければいけません。
機械の取り扱いを知ることで安全が保障されます。
不十分な知識は事故や機械の故障につながります。

機械を使う前に安全意識を持つ

機械を使う前によく機械の取扱説明書読んでください。

→「安全」5P 参照

周囲の人の安全のために安全意識を持ちましょう。
誤った知識を身に付けると怪我をする恐れがあります。

正しい知識を持つことで機械を使うことができる

オペレーターは正しい知識を持ち、機械を操作してください。
取扱説明書に目を通すことで、安全に操作することが出来ます。

保護ガードは取り外さない

使う前に保護ガードがついているか確認してください。

これはオペレーターの安全を保障します。

保護ガードが取り付けられていない場合、深刻な障害につながる恐れがあります。

操作

操作の前に



周囲の確認

機械を使う前に周囲に人や動物がいないか確認し、怪我や事故を防いでください。

子どもや第三者への注意

機械を使う前に周囲に特に子供や第三者がいないか確認し、怪我や事故を防いでください。

その他の注意事項

- 「メンテナンス」の章に述べられているすべての事項を点検してください。
- ナイフの摩耗状態を点検してください。
ナイフはひっくり返して反対方向でも使用できます

⇒「ナイフ」 p56 参照

機械の操作方法

- 周辺に人や動物がいないことを確認してください。
- 本機が作業位置にあることを確認してください。
- すべての保護ガードを本機に取り付けてください。
- トラクターの PTO を慎重に駆動させてください。
- PTO を 540 回転までゆっくりと上げてください。
⇒「機械」 p20 参照
- トラクターを発進させてください。

注意：本機の動作に異常を感じたら

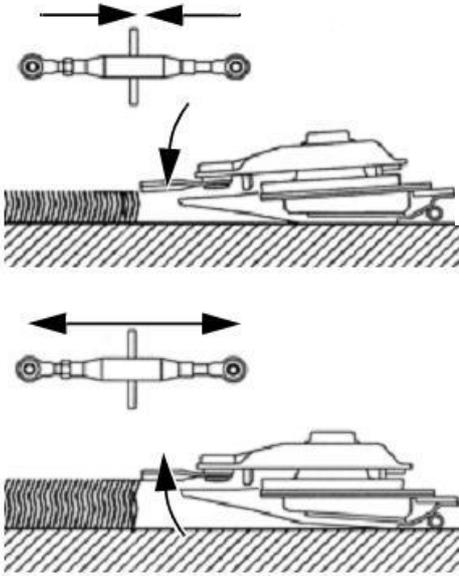
- 異常を感じたらトラクターを直ちに停止してください。PTO を直ちに停止してください。
- トラクターの油圧システムを直ちに停止してください。
- トラクターのエンジンを停止してください。

注意：機械の騒音や振動が激しい場合は直ちに作業を停止してください。

⇒「トラブルシューティング」 p88 参照

操作

刈り高さ



刈り高さの調整手順

- カッターバーを圃場を下ろしてください。
- トップリンク長の調整で刈り高さを設定します。



- ◆ トップリンク長を短くする=刈り高さ低
- ◆ トップリンク長を長くする=刈り高さ高

ハイスキッド※を取り付けることによって、
刈り高さを下表のように調整できます。

刈り高さ	ハイスキッドの装備
20-50mm	スキッド無し
25-70mm	20mm スキッド※装備
50-100mm	40mm スキッド※装備
100mm 以上	80mm スキッド※装備

別売オプション

→>>別売りオプション p.83 ページ参照

操作

圃場作業



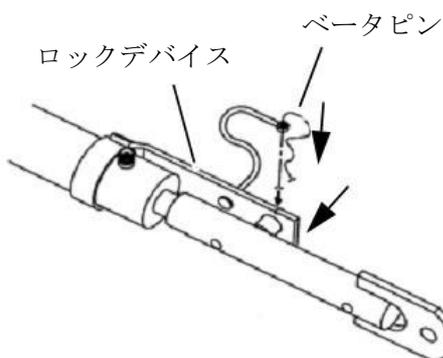
周囲の確認

本機の走行、使用の前に周囲の状況を確認し
人や動物に危害を与えないよう注意してください。

第三者への注意

作業中、許可されていない人が機械に近づかないよう注意
してください。

大きな怪我を負う危険性があります。



機械の操作手順

>ロックデバイスからベータピンを抜いてください。
>トラクターの油圧システムを作動し、油圧シリンダーによって
本機のシリンダーロックを解除してください。

- ロックデバイスからベータピンを抜いてください。
- トラクターの油圧システムを作動し、油圧シリンダーによって
- 本機のシリンダーロックを解除してください。

- トラクターの油圧操作で本機を作業位置に下ろして
ください。

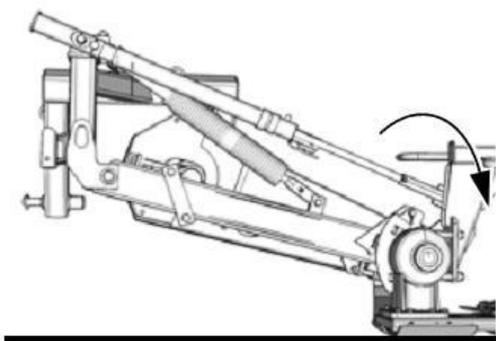
- 作業機の全ての保護ガードが正しく装着されている
か確認してください。

- トラクターPTO を駆動してください。

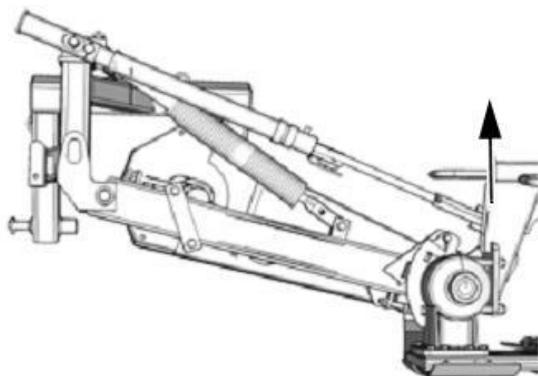
- PTO 回転数を 540rpm までゆっくり上げてくださ
い。→「機械〇〇」 p.20 参照

- トラクターの油圧 3 点を操作して規定の作業高さ
に設定してください。→「作業高さ」p.29 参照

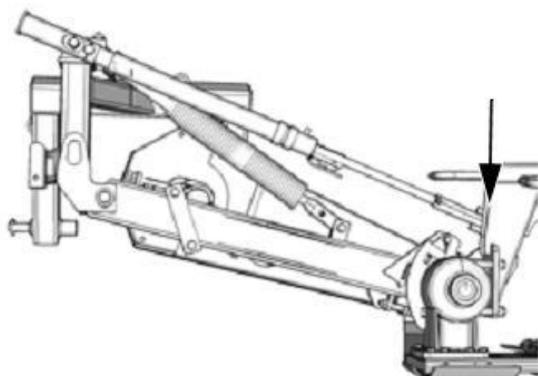
- 適切な作業速度で刈り取り作業を開始してくださ
い。



操作



- 枕地旋回時、トラクターの油圧を操作して、モアユニットを上げてください。

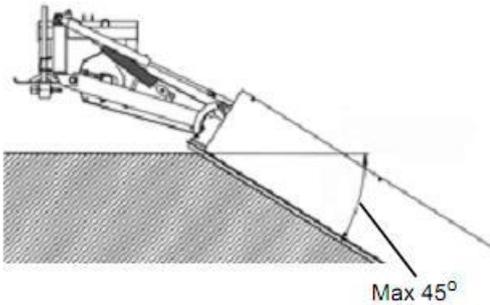


- トラクターの油圧を操作してモアユニットを下げてください。

操作

のり面作業

本機でのり面作業を行う場合は以下の手順で作業機を操作します。



上傾斜面での作業

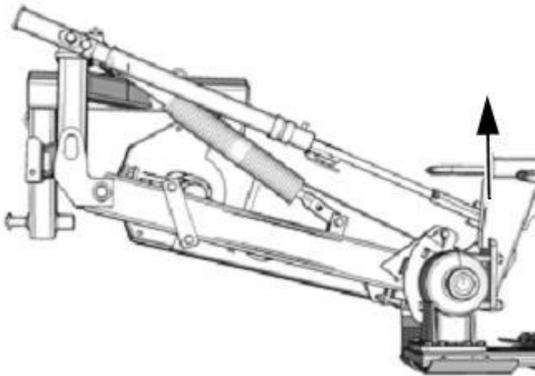
- ロープを引いてロックキャッチを解除してください。
- トラクターの油圧操作でモアユニットを持ち上げて斜面の角度に合わせてください。
- ロープを放してください

下傾斜面での作業

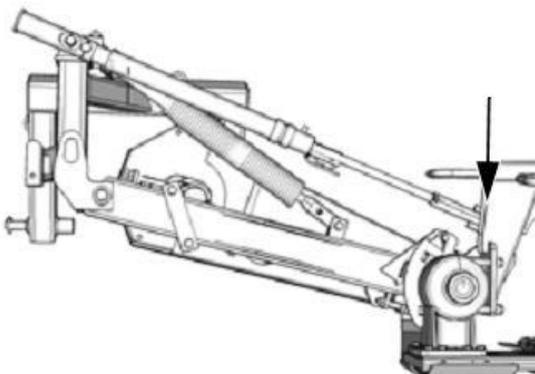
- トラクターの油圧操作でモアユニットを下げてください。
- 傾斜角度に合わせてモアユニットの角度を調整します。
- 本機のモアユニットは下方方向に最大 45° まで下げることが可能です。

枕地旋回

下記に示す方法で枕地を旋回してください。



- トラクターの油圧操作でモアユニットを上げます。



- 枕地を旋回してください。
- 油圧操作でモアユニットを下げます。

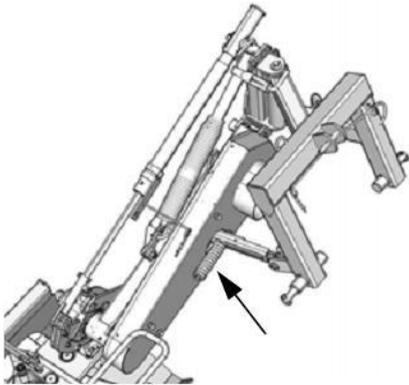
注意

可動部への注油を怠ると正確に作動しません。

→ 「潤滑」 p52 参照

操作

安全装置

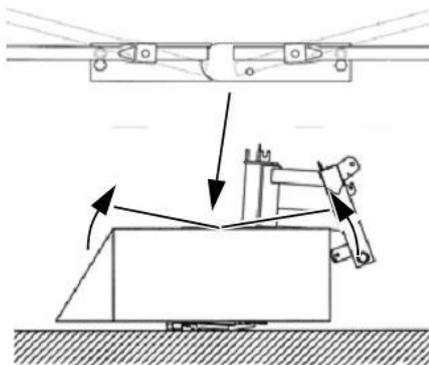


本機には障害物に接触した際のための安全装置が装備されています。障害物に接触したらカッターバーは後ろに逃げ、その障害物からモユニットを守ります。

- 障害物に接触したら（安全装置が働いたら）トラクターを停止してください。
- 障害物を取り除き、トラクターを僅かに後退させてください。
- 後方に逃げたモユニットを復帰させてください。

→「安全装置」p29 参照

保護ガード



保護ガードは2つのポジション（平地／傾斜地）に設置できます。

傾斜地では保護ガードをトップポジションにしてください。

- 保護ガードをめくります。
- カバーフレームの両脇のボルトを緩めます。
- 前後フレームを持ち上げた状態でトップポジションにボルトを取り付ける。
- カバーを元の位置に戻します。

注意！

保護ガードの改造はしないで下さい

クリーニング

洗浄の前に



作業機を洗浄する際は、危険が伴います。

洗浄するとき怪我を負う危険性があります。

注意！ 洗浄する際は、自身と周りの人の安全を確認しましょう。

これらの安全性に関する指示に従わない場合、
重大な傷害をもたらす恐れがあります。

したがって、洗浄の前に、次の手順を行います。

- 機械の周りを確認してください。
- PTO シャフトを取り外してください。
- 油圧システムから圧力を抜き、トラクターからはずしてください。
- ハンドブレーキを有効にし、トラクターを停止してください。
- エンジンキーをはずしてください。

機械を洗浄するときはトラクターのエンジンを切って、エンジンキーを抜いてください。

洗浄をする前には必ず電源を切ってください。

これにより、ショートによって機械の破損を防ぐことができます。
ショートした場合、やけどや重大な怪我を受ける恐れがあります。

機械を洗浄するときは、身体や顔を保護してください。

保護具は正しく着用してください。

汚れや油の飛散から身体や顔を保護します。

十分な保護をしていないと、肌や目を傷つける可能性があります。

洗浄を始める前に、下記の手順を行います。

- モアユニットの保護ガードをめくります。
- 機械に付着している異物を取り除いてください。

クリーニング

洗浄



正しい洗浄剤を使用してください。

機械を洗浄する場合は中性洗剤のみを使用してください。

酸性、アルカリ性の洗浄剤は、プラスチック、ゴム、塗装表面を腐食することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機は、洗浄に使用できます。しかし、ベアリング周辺の高圧洗浄は避けてください。
- ▶ 油圧コンポーネントのガスケット類の周辺を保護するために、高圧洗浄はしないで下さい。

洗浄後

- ▶ 洗浄後は約 1 時間乾かしてください。
- ▶ ガードの上にたまった水をすべて取り除いてください。

駐車および保管

保管の前に

シーズンの終わりに、保管のために準備する必要があります。

- すべてのボルトをチェックして締めます。
- 「締めつけトルク」 p.89 参照
- 破損した箇所を修理・交換してください。
- 塗装が剥がれている箇所を塗りなおして下さい。
- 以下のように機械に油をさします。
- 「メンテナンススケジュール」 p.50 参照

駐車／機械の取り外し

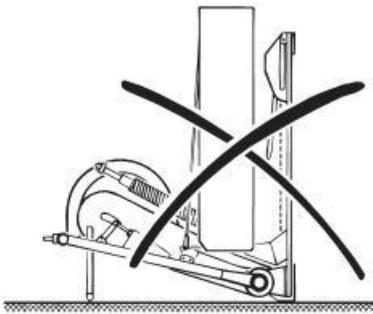


機械とトラクター間の接続取り外し

トラクターから機械を取り外す際に怪我をする恐れがあります。取り外すときは細心の注意を払って安全の確保を行いましょう。それらの指示に従わない場合、重大な事故につながる可能性があります。

作業位置に機械を停めてください

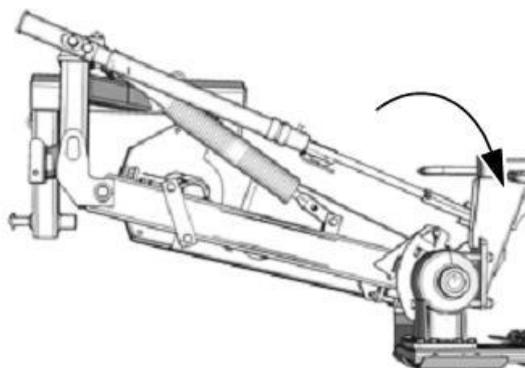
機械は、作業位置においてください。
これは転倒し、重大な事故を防止するためです。
もし転倒した場合、深刻な事故をもたらすこととなります。



取り外しするときに以下のことを確認してください。

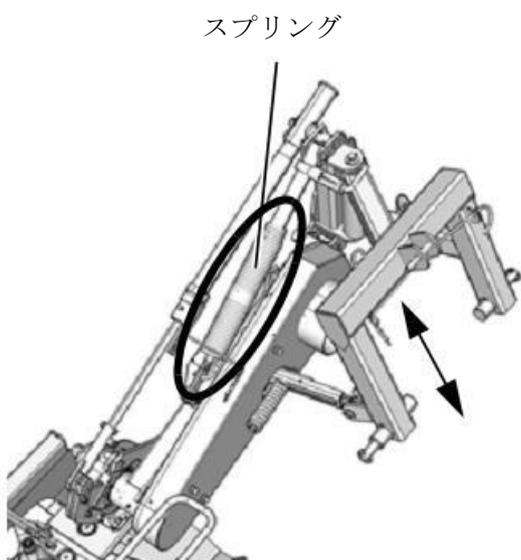
- 機械は水平に配置してください。
- トラクターが取り外された後にロールバックすることはできません。
- トラクターが停止したら、駐車ブレーキを作動させて、エンジンキーを外してください。
- 子供や第三者は機械の周辺に立たせないようにしてください。

保管



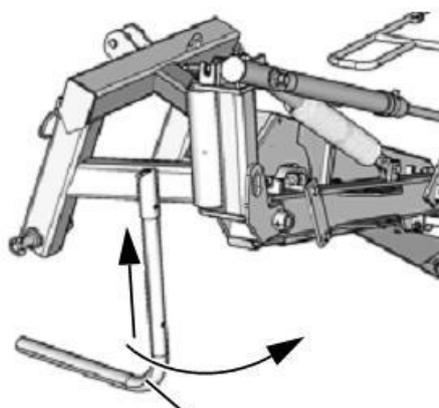
機械は、次のように取り外します。

- トラクターの油圧を操作し、機械を作業位置に降ろします。



スプリング

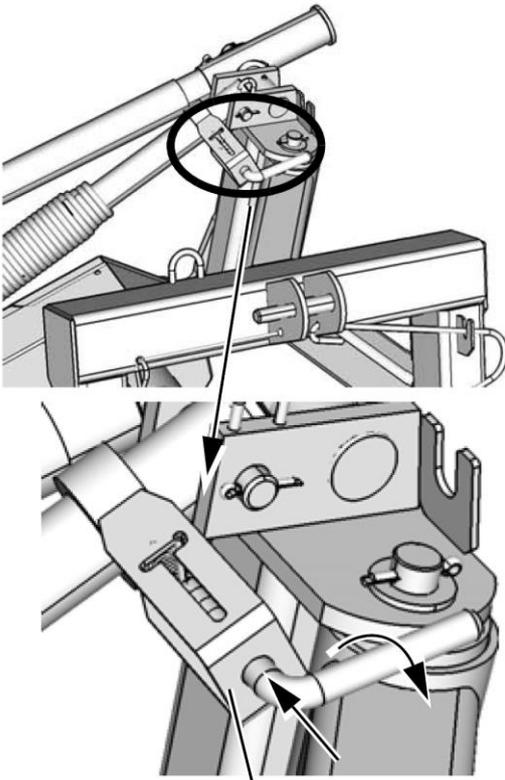
- トラクターのリフトアームを動かし、スプリングが減圧されるまでヒッチを上げ下げします。



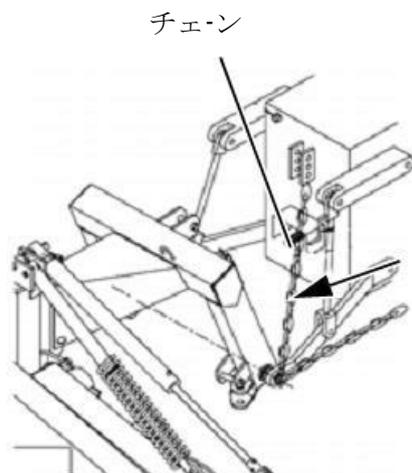
サポートレッグ

- 左図のようにサポートレッグ回し、下へ降ろします。
- ピンとサポートレッグを固定します。

- ▶ パーキングキャッチを押し、ハンドルを回します。
- ▶ ハンドルが正しくロックされていることを確認してください。



パーキングキャッチ



チェーン

- ▶ トップリンクとリフトアームの間のチェーンを外します。
- ▶ トラクターのリフトアームを動かし、地面に機械を下げます。
- ▶ トラクターから PTO シャフトを外します。
- ▶ 機械の油圧システムに圧力がかけられていないことを確認してください。
- ▶ 機械の油圧接続を取り外します。
- ▶ トラクターから機械を切り離します。

駐車および保管

油圧



油圧システムが減圧されたときに油圧装置を取り外してください

トラクターと機械の両方の油圧システムが減圧されたときに油圧ホースを、取り外してください。

機械が誤作動する危険性があります。

誤作動が重大な傷害につながる可能性があります。

作動油との物理的接触を避ける

作動油は、あなたの健康に深刻な影響を与える添加剤を含んでいます。したがって、作動油を取り扱う際には、次の点に注意してください。

- ・作動油との直接接触を避けてください。皮膚を損傷する危険性があります。
- ・バリアクリームや保護手袋を使用して肌を保護します。
- ・手を洗う際に油や潤滑油を使用しないでください。
- ・油で汚染された衣服は直ちに変更する必要があります。
- ・油を含んだ衣類は所持しないようにしてください。
- ・もし油に触れた場合は直ちに医者に皮膚を診てもらってください。

保管

シーズンが終わると、機械は冬季の保管に向け準備をする必要があります：

- ・機械を十分に洗浄してください。
→「クリーニング」p.42 ページ参照
- ・トランスミッションのオイル変更
→「オイルの種類」p.89 参照
- ・油圧カプラーは、ダストキャップを装着するか、小さなプラスチックバッグに入れてください。
- ・PTO シャフトは、洗浄して注油し、損傷や腐食を避けるために乾燥した場所で格納する必要があります。
- ・常に機械の安全装置が磨耗または破損していないことを確認してください。
- ・可能な限りシリンダーやホースから残油を抜き取ってください。
- ・換気のできる場所に機械を置いてください。

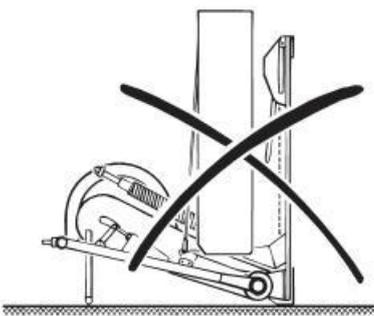
安全



駐車時に機械の安全を確保しなければならない。

倉庫内に駐車するときはその機械が正しく保管しなければなりません。

正しく保管することにより、重大な事故を防ぐことができます。機械が適切に保管されていない場合、深刻な負傷や死亡に至ることがあります。



作業位置に機械を停めてください

機械は、常に作業位置においてください。

これは転倒による重大な事故を防ぎます。

もし転倒した場合、致命的な傷害を負う恐れがあります。

切断するときに以下のことを確認してください。

- ・機械が水平な位置におかれている。
- ・トラクターから取り外された後にロールバックすることはできません。

トラクターが停止した場合：駐車ブレーキを作動させ、エンジンキーを取り外してください。

・子供や第三者は機械の近くにいないようにしてください。

メンテナンス

安全のため



指示されたサービスとメンテナンススケジュールを遵守してください。
説明書は指示された、サービス、メンテナンススケジュールに準拠しています。
メンテナンス間隔を遵守しないと、周囲にとって危険です。

特定の安全情報



- ・必要な専門知識と適切な工具を使用し、修理やメンテナンス作業を行う必要があります。
- ・PTO シャフトは取り外し、モーターを停止する必要があります。
- ・ハンドブレーキをかけ、エンジンキーが外されていることを確認してください。
- ・作業を開始する前に、作業機が正しく固定されていることを確認してください。
- ・保護されていない場合、誰もトラクターと機械の間に近づかないでください。
- ・常に純正のパーツを使用してください。
- ・作業機のベアリングを潤滑するときは、潤滑スプレーは使用しないでください。

潤滑油の安全性



潤滑油は、物によっては劇薬となる成分を含んでいるため、あなたの健康に深刻な影響を与えることがあります。したがって、作業油と潤滑油を使用している場合には、次の点に注意してください。

- ・これら薬剤と直接の接触がないようにしてください。皮膚を損傷する可能性があります。
- ・バリアクリームや保護手袋を使用して肌を保護してください。
- ・手をきれいに保ち、潤滑油を使用しないでください。
- ・油で汚染された衣服は直ちに変更してください。
- ・汚染された衣類は所持しないようにしてください。

注意！

- ・使用した油を収集し、地域の規則に従って廃棄業者に委託して処理してください。
- ・付着した油が原因で身体に障害を負った場合は直ちに医師に相談してください。

メンテナンス

基本事項

ここでは一般的なメンテナンス作業について述べています。
作業機各部の詳しいメンテナンス作業については後述しています。

メンテナンス作業を行う場合、必ず機械を輸送位置に固定してください。作業位置にする必要がある場合は、その作業に関する指示に従ってください。

情報：

グリースガンによる作業

グリースガンを1、2回押してグリースを注入します。グリースガンを1回押した後に抵抗を感じた場合は、ベアリングにそれ以上グリースを注入しないでください。グリースが多すぎるとベアリングが離れ、埃やゴミなどが入り早期摩耗や破損につながります。

下表はメンテナンスに関する最も重要な事項を示しています。

メンテナンス作業	注意事項
潤滑油による潤滑	作動面やチェーンにオイル缶から潤滑油を注入 →「技術情報」p89参照
グリースガンによる潤滑	他に規定がなければグリースガンを1、2回押すだけで十分 →「技術情報」p89参照
オイル交換	指定されたオイル製品のみを使用してください。使い古したオイルの使用は健康に有害であるとともに、作業機に悪影響を及ぼすため厳しく禁じられています。 →「技術情報」p89参照
交換	「交換」の章に述べられている指示に従って正しく部品を交換してください。 →交換<69ページ
点検	「保守-点検」の章に述べられている指示に従って部品を点検してください。 点検によって問題の部品を交換する場合があります。 →保守-点検<55ページ
メンテナンススケジュール	メンテナンス間隔は機械を平均的に使用した場合に基づいています。コントラクターなど高負荷の作業の場合、メンテナンスはもっと頻繁に行う必要があります。埃の多い作業状況の場合も、頻繁に行ってください。

メンテナンス

メンテナンススケジュール

		初 始 動 か ら 1 0 作 業 時 間 後	毎 日	4 0 作 業 時 間 毎	8 0 作 業 時 間 毎	2 0 0 作 業 時 間 毎	作 業 シ ー ズ ン 毎	適 宜	オ イ ル 交 換	潤 滑	点 検	部 品 交 換
通常 の メン テナ ンス	油圧ホース、4年毎											●
	カッティングディスク初始動から1作業時間後										●	
	カッティングディスク	●									●	
	カッティングディスク初始動から1作業時間後						●				●	●
	ナイフ	●						●			●	●
	コーン	●					●				●	●
	PTOシャフト	●								●		●
駆 動 部	ベベルギア	●		●					●		●	
	カッターバー	●	●					●	●	●		
	Vベルト駆動部	●				●		●			●	●
								●				
											●	●

カッターバーオイル量	型式	リットル
	117	2.4
	122	2.9
	124	3.1
使用オイル 90 番		

ベベルギアボックスオイル量	リットル
	0.6
使用オイル 90 番	



メンテナンス作業の安全規則

機械のメンテナンス作業を行う際は、トラクターを停止してしっかり固定してください。

これによって P T O シャフトが突然回転することを防止します。

トラクターと P T O シャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

メンテナンス作業を始める前に

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの P T O を停止してください。
- ・駐車ブレーキをかけてください。

交換部品

安全上の理由からディスクモアでは必ずオリジナルの交換部品を使用してください。

オリジナルではない部品を使用した場合、メーカー保証が無効となります。

保護ガード

すべての保護ガードが所定位置に正しく取り付けられているか確認してください。保護ガードが取り外されている場合、事故や大きなケガにつながる危険性があります。

PTO シャフトの点検



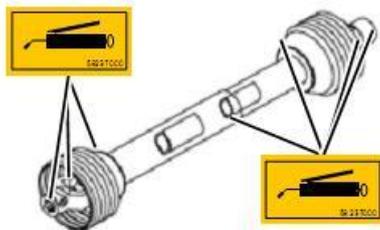
P T O シャフトメーカーのメンテナンスと安全に関する指示に従ってください。

メンテナンス

潤滑

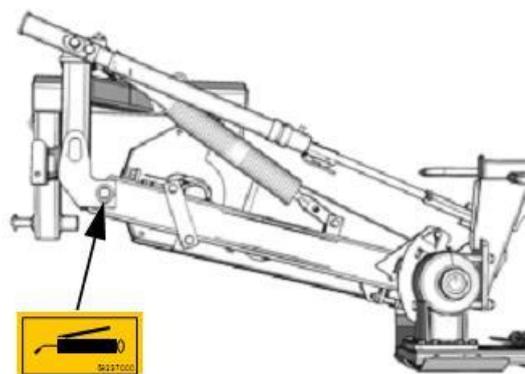
毎日

PTO シャフト

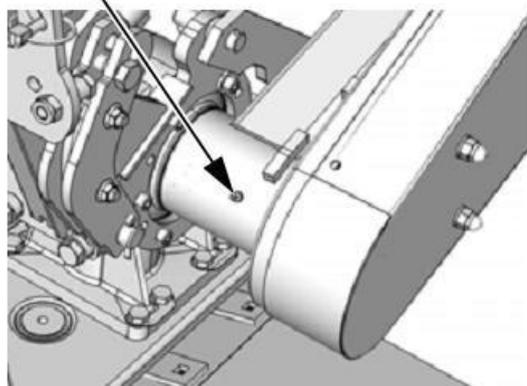


- ▶ グリースガンのノズルをグリースニップルに確実に挿入してください。
- ▶ グリースガンを 1、2 回(最高で 2 回) 押してください。
⇒ 「メンテナンススケジュール」 p 50 参照
⇒ 「オイルの種類」 p 89 参照

ベベルギア、サスペンション



- ▶ グリースガンのノズルをグリースニップルに確実に挿入してください。
- ▶ グリースガンを 1、2 回(最高で 2 回) 押してください。
⇒ 「メンテナンススケジュール」 p 50 参照
⇒ 「オイルの種類」 p 89 参照



保守-点検

カッターバー



駆動部のメンテナンス作業の注意事項

駆動部のメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。トラクターと P T O シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

カッターバーを作動するとき

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの P T O を停止してください。
- ・トラクターの油圧システムを必ず取り外してください
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください

オイル使用時の注意事項

オイルを取り扱う場合は保護クリームを塗るか保護手袋を着用して、手のケガを防止してください。オイルに直接接触すると、皮膚に重傷を負う危険性があります。

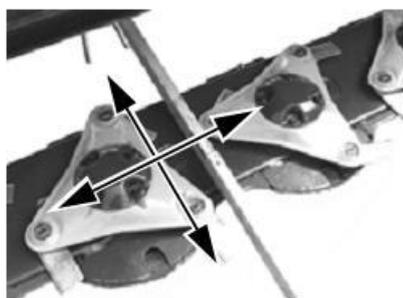
正しい種類のオイルの使用

必ず、ギアボックス用の正しいオイルを使用してください。これによってギアボックスを長持ちさせることができます。不適切な種類のオイルを使用すると、ギアボックスが損傷する可能性があります。

正しいオイルレベル

ギアボックスの最高、最低のオイルレベルを守ってください。これによってギアボックスを長持ちさせることができます。オイルレベルの制限を超えると、ギアボックスが過熱し大きく損傷する危険性があります。

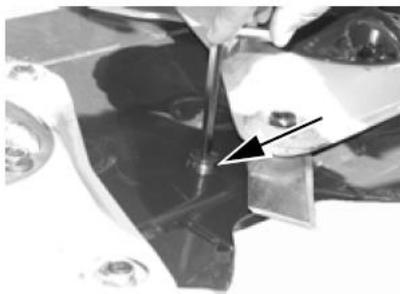
点検-オイル交換 毎日⇒「メンテナンススケジュール」p 50 参照



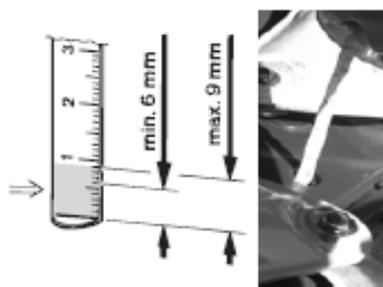
カッターバーのオイルレベルの点検

- ▶ ディスクモアを水平な地面に置いてください。
- ▶ カッターバーを地面に下げてください。
- ▶ カッターバーの位置を水準器で点検してください。必要であれば、木片で位置を調整してください。
- ▶ カッターバーが進行方向に向かっておおよそ水平になっているか確認してください。トップリンクの長さを調整してカッターバーの設定を修正してください。

メンテナンス



- カッターバーのオイルプラグを探して取り外してください。
 - ・オイルが温かい場合、約 3 分待ってください。
 - ・オイルが冷たい場合、約 15 分待ってください。



- 図のようにオイルレベルを確認し、必要であれば補充してください。

最低 6mm、最高 9mm

→>> 「オイルの種類」 >>P89 参照

- オイルプラグを取り付け、完全に締めてください。

メンテナンス

ギアボックスの保守・点検



トランスミッションのメンテナンス作業の注意事項

トランスミッションのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

トランスミッションの作業の際

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

オイル交換時の注意事項

オイル交換時には、保護クリームを塗るか保護手袋を着用してください。手のケガを防止します。

オイルに直接接触すると、皮膚に重傷を負う危険性があります。

正しい種類のオイルの使用

必ず、トランスミッション用の正しいオイルを使用してください。

これにより、トランスミッションを長持ちさせることができます。

不適切な種類のオイルを使用すると、トランスミッションが損傷する恐れがあります。

正しいオイルレベルの維持

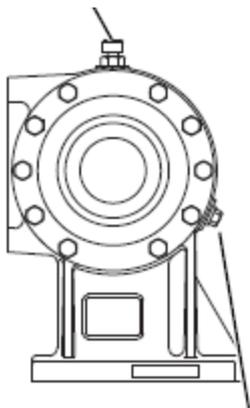
トランスミッションの最高、最低のオイルレベル表示を守ってください。

正しいオイルレベルはトランスミッションを長持ちさせます。

誤ったオイルレベルはトランスミッションを過熱し、大きな損傷を引き起こします。

ベベルギア オイルレベルの点検

オイルプラグ 2



オイルプラグ 1

使用 80 時間ごと

→「メンテナンススケジュール」p50 参照

オイルレベルの点検の方法：

- オイルプラグを取り外してください。
- オイルが穴の位置まで満たされているか点検してください。
- 補充が必要であれば、オイルプラグ 2 を外してください。
- オイルを正しいレベルまで満たしてください。
- トランスミッションにオイルプラグ 1 と 2 を取り付けてください。

→「オイルの種類」p89 参照

メンテナンス

ナイフの保守・点検



カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

カッターバーのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは、突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

カッターバーの作業の際

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

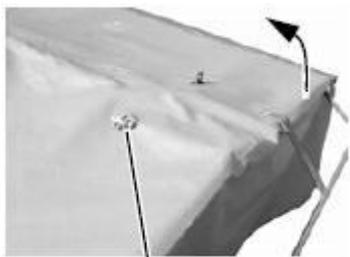
ナイフの定期的な点検

ナイフは定期的に点検してください。

摩耗や破損したナイフは回転部が不均衡になります。

振動によって機械が損傷する可能性があります。

1 時間使用後、毎日

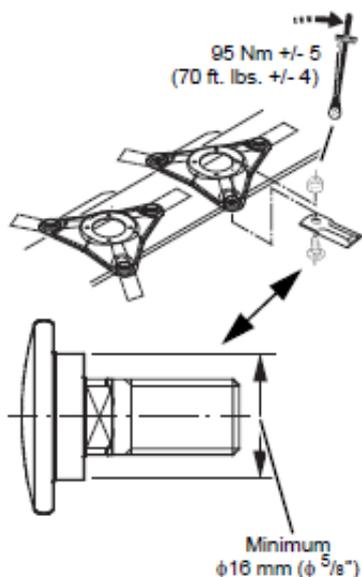


ピン

→「メンテナンススケジュール」 p50 参照

ナイフの点検方法

- ピンを取り外してください。
- 機械のカッターバー周囲の保護ガードを開いてください。



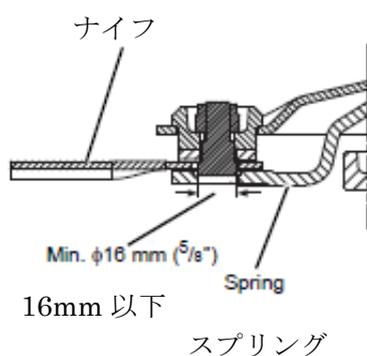
- ▶ 損傷したナイフが図の位置に来るまでカッティングディスクを手で回してください。
- ▶ ナイフの摩耗状態を点検してください。
- ▶ ボルトの摩耗または損傷状態を点検してください。
- ▶ もし、ボルトに摩耗や損傷がある場合は、交換してください。

注意

ボルトのナイフ取り付け部の直径は $\phi 16\text{mm}(\phi 5/8\text{''})$ 以上なければなりません。

→ 「ナイフ」 p74 参照

- ▶ ボルトが完全に締まっているか確認してください。
- ▶ もし、ボルトが緩んでいれば、適切な道具を用いて 95Nm(70ft/lb)のトルクでボルトを締めてください。



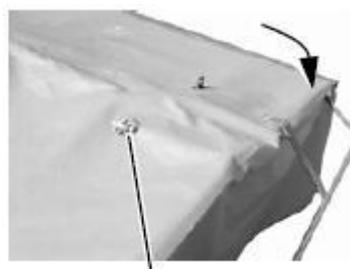
注意

オプションのクイックリリースが取り付けられている場合でも、ナイフ取り付け部が直径 16mm 以下になったら交換が必要です。ボルトの取り外しを必要とせずナイフを取り外すことが可能です。

→ 「ナイフ」 p74 参照

*補足。

→ 「ナイフクイックリリース」 p86 参照



ピン

- ▶ カッターバー周りの保護ガードを閉じてください。
- ▶ ピンを取り付けてください。

メンテナンス

カッティングディスクの保守・点検



カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

カッターバーのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

カッターバーの作業の際：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

1 時間使用後、毎日

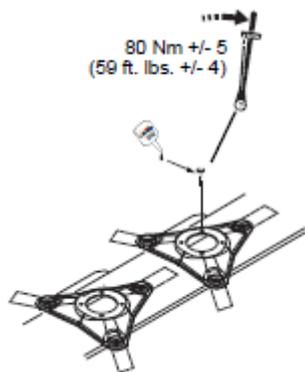


ピン

→ 「メンテナンススケジュール」 p50 参照

カッティングディスクの点検方法

- ▶ ピンを外してください。
- ▶ カッターバー周りの保護ガードを開いてください。
- ▶ カッティングディスクの状態にゆがみやひびがあるか点検してください。
- ▶ 適切な道具を用いて、カッティングディスクを 80Nm(59ft/lb)のトルクで締めてください。



メンテナンス



ピン

- カッターバー周りの保護ガードを閉めてください。
- ピンを取り付けてください。

メンテナンス

コーン

カッティングユニットのメンテナンス作業の注意事項

カッティングユニットのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

カッターバーの作業の際：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

定期点検、毎日

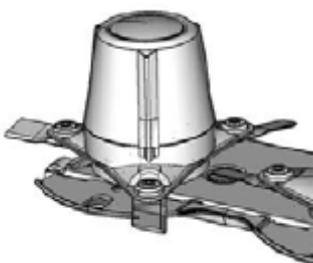


ピン

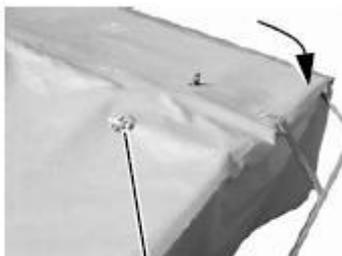
→「メンテナンススケジュール」p50 参照

コーンの定期点検方法：

- ピンを取り外してください。
- カッターバー周りの保護ガードを開けてください。



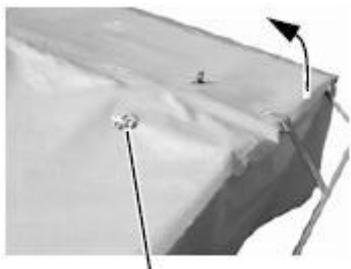
- コーンの汚れを落としてください。



ピン

- カッターバー周りの保護ガードを閉じてください。
- ピンを取り付けてください。

内部点検、毎シーズン

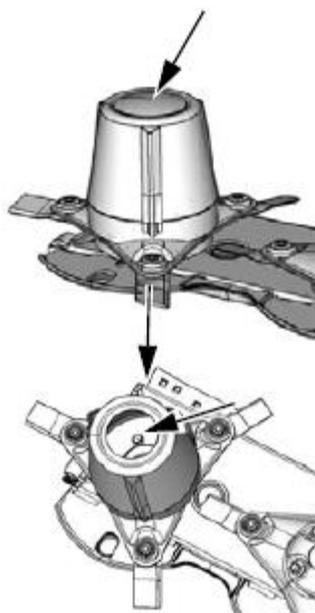


ピン

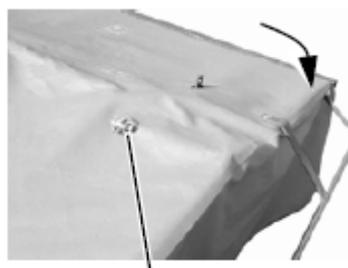
→「メンテナンススケジュール」 p50 参照

コーンの内部点検方法：

- ピンを外してください。
- カッターバー周りの保護ガードを開いてください。



- コーンの先端ガードを外してください。
- コーンの内側の汚れを掃除してください。
- コーンの先端ガードを取り付けてください。



ピン

- カッターバー周りの保護ガードを閉じてください。
- ピンを取り付けてください。

メンテナンス

ストーンガードとナイフの保守・点検



カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

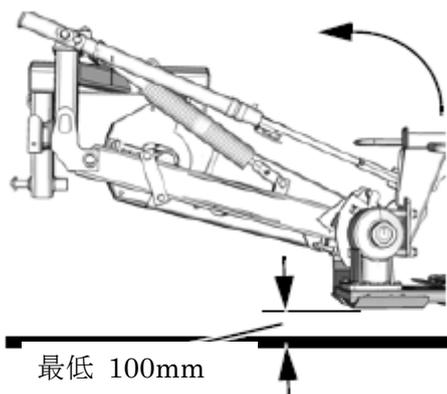
カッティングユニットのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

カッターバーの作業の際：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

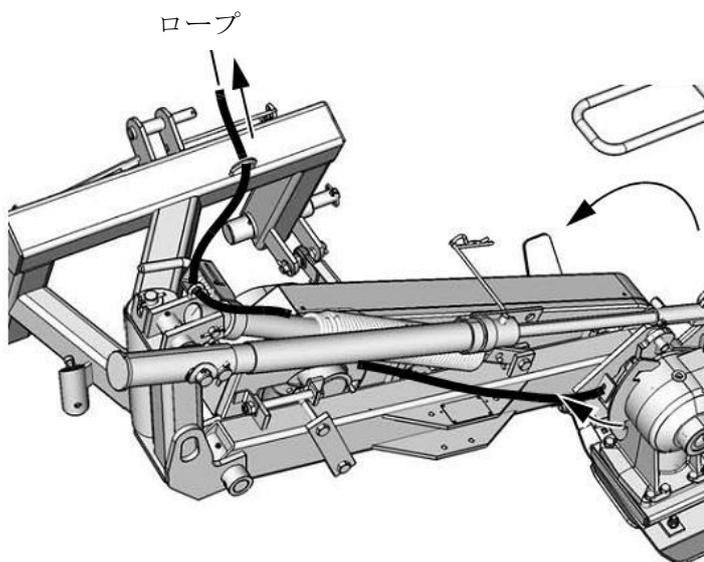
使用 40 時間ごと



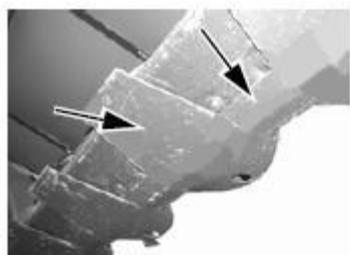
→「メンテナンススケジュール」p50 参照

ストーンガードとカウンターナイフの点検方法：

- ▶ トラクターのリフトアームを起動し、機械を完全に地面から上昇させてください。



- ▶ ロープを引いてロックキャッチを解除してください。
- ▶ ロープを引いた状態でトラクターの油圧を作動させると、機械が輸送位置に上昇します。
- ▶ 一度カッティングユニットをおおよそ半分まで上昇させ、ロープを外してください。
- ▶ 油圧システムの圧力を下げてください。

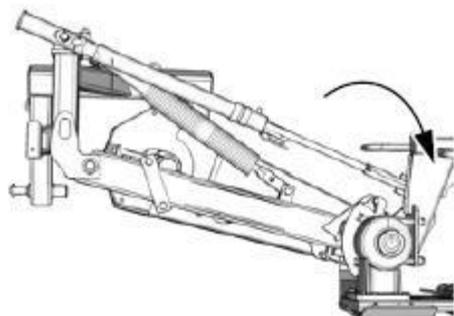


- ▶ ストーンガードとカウンターナイフの摩耗状態を目で確認してください。

注意

ストーンガードやカウンターナイフに重度の摩耗による穴が確認できる場合、ただちに取り替えてください。

→ストーンガードとカウンターナイフ p79 参照



トラクターの油圧システムを起動させ、機械を作業位置まで下げてください。

メンテナンス

V ベルトの保守・点検



トランスミッションのメンテナンス作業の注意事項

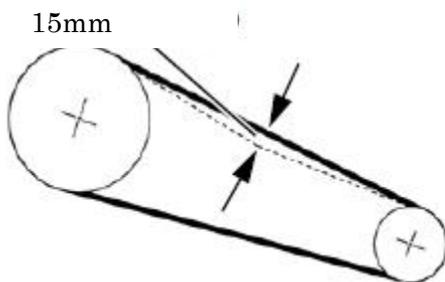
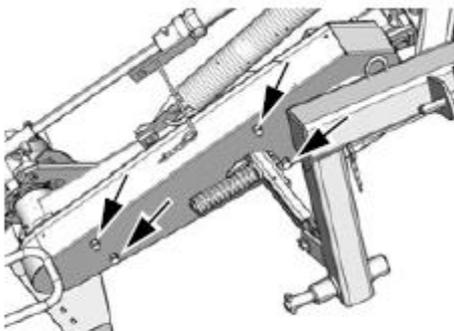
トランスミッションのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

トランスミッションの作業の際：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

10 時間作業後、40 時間使用ごと



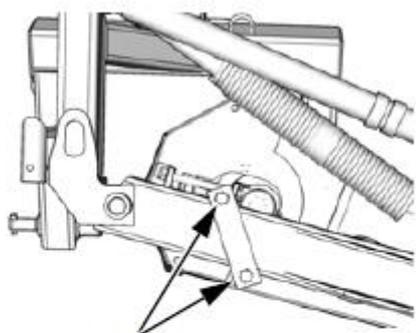
→ 「メンテナンススケジュール」 p50 参照

V ベルトトランスミッションの点検方法：

- ▶ ボルトと保護ガードを外してください。
- ▶ 図の位置で V ベルトを押したとき、約 15mm の遊びがあることを確認してください。

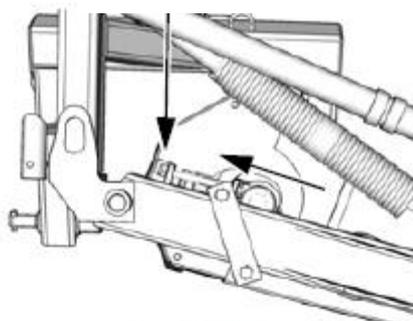
Vベルトのテンション調整

- 適切な道具を用いてボルトを緩めてください。

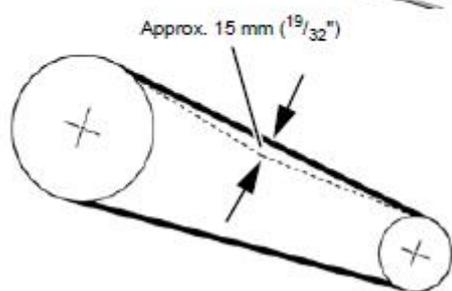


ボルト

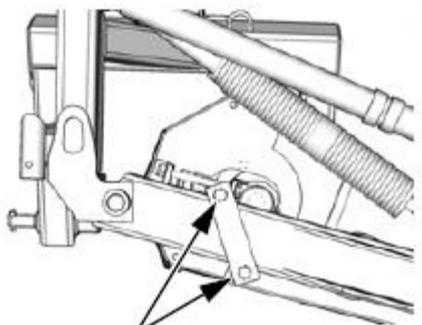
ナット



- Vベルトが適正なテンションになるまでナットで締めてください。
- 図の位置でVベルトを押したとき、約 15mm の遊びがあることを確認してください。

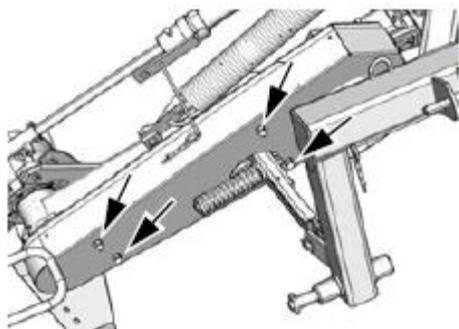


メンテナンス



ボルト

- ボルトを締めてください。



- 保護ガードを取り付けてください。

交換

**トランスミッションのメンテナンス作業の注意事項**

トランスミッションのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止して実施してください。これは突然機械が作動するのを防ぎます。

トラクターと PTO シャフトが取扱説明書に従って接続されていない場合、事故を引き起こし手足などにケガを負う危険性があります。

トランスミッションの作業の際：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・PTO シャフトを切り離してください。
- ・トラクターの油圧システムを切り離してください。
- ・ハンドブレーキを必ずかけてください。

カッターバーのオイル交換

**オイル交換時の注意事項**

オイル交換時には、保護クリームを塗るか保護手袋を着用してください。手のケガを防止します。

オイルに直接接触すると、皮膚に重傷を負う危険性があります。

指定オイルの使用

必ず、トランスミッション用の正しいオイルを使用してください。

これにより、トランスミッションを長持ちさせることができます。

不適切な種類のオイルを使用すると、トランスミッションが損傷する恐れがあります。

正規なオイルレベルの維持

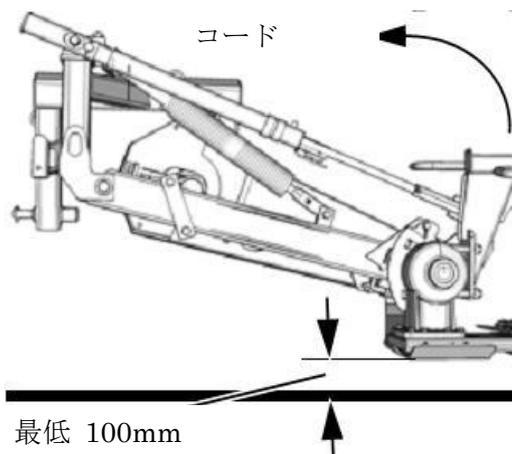
ギアボックスのオイルの量は規定のオイル量を守ってください。

正しいオイルレベルはトランスミッションを長持ちさせます。

誤ったオイルレベルはトランスミッションを過熱し、大きな損傷を引き起こします。

メンテナンス

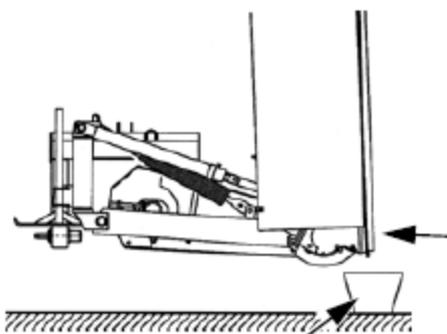
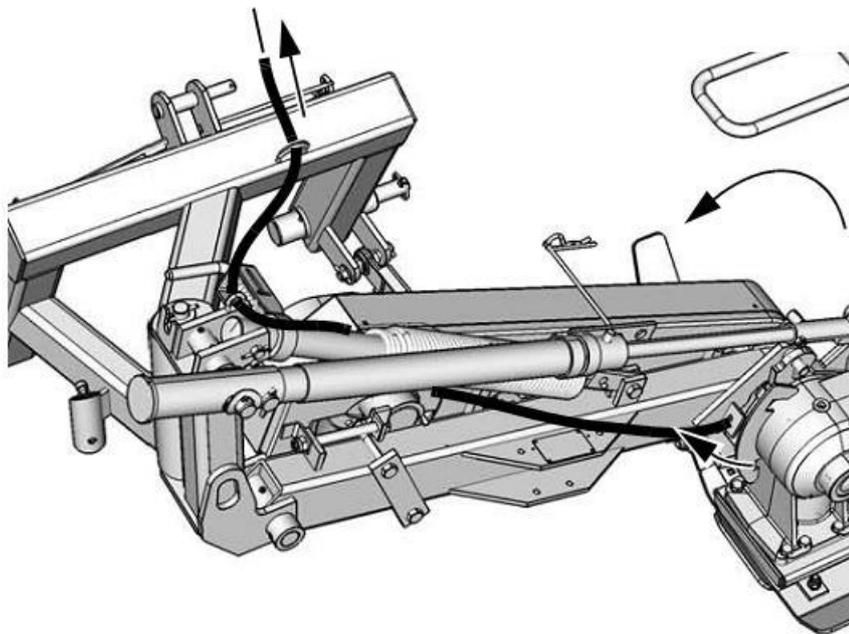
オイル交換（10 時間作業後、200 時間作業ごと、または年一度）



→「メンテナンススケジュール」p50 参照

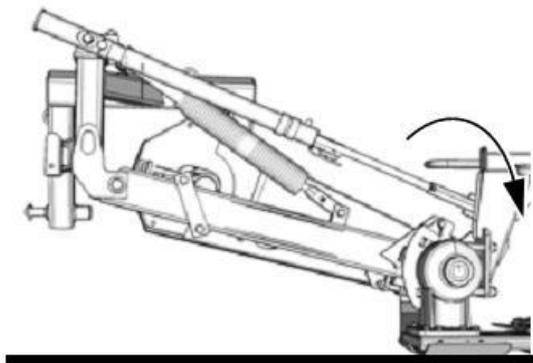
カッターバーのオイル交換の際：

- トラクターのリフトアームを起動し、機械を完全に地面から上昇させてください。
- ロープを引いてロックキャッチを解除してください。
- ロープを引いた状態でトラクターの油圧を作動させると、機械が輸送位置に上昇します。
- 一度カッティングユニットをおおよそ半分まで上昇させ、ロープを外してください。
- 油圧システムの圧力を下げてください

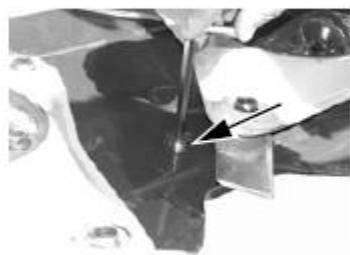


- ドレンプラグを外してください。
- 適当な容器で排油を受けてください。
- およそ 10～15 分排油し、カッターバーのオイルを出し切ってください。
- ドレンプラグをカッターバーに取り付け、しっかりと締めてください。

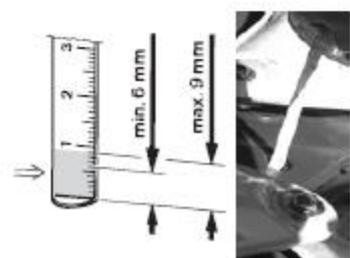
- ▶ トラクターの油圧装置を作動して作業位置まで機械を下げます。



- ▶ 機械を水平な地面に置きます。
- ▶ カッターバーの位置を点検します。



- ▶ オイルプラグをはずします。



- ▶ 下表のオイルレベルになるまで、新しいオイルを満たしてください。

型式	リットル
117	2.4
122	2.9
124	3.1

最低 6 mm、最高 9 mm

→ 「オイルの種類」 P.89 参照

- ▶ 補充したら、オイルプラグを取りつけ、しっかりと締めます。

メンテナンス

ギアボックスのオイル交換



駆動部のメンテナンス作業の注意事項

機械の駆動部を動かす際は、トラクターを停止してしっかり固定してください。

これによって P T O シャフトが突然回転するのを防止します。
トラクターと P T O シャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

駆動部を動かす場合：

- ・トラクターエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの P T O を停止してください。
- ・トラクターの油圧システムが切断されていなければいけません。
- ・ハンドブレーキをかけて下さい。

オイル交換を行う際、注意をして下さい

オイルを交換する際は保護クリームを塗るか保護手袋を着用して下さい。
そうすることで皮膚損傷からあなたの手を保護します。
オイルに直接接触すると皮膚に重傷を負う危険性があります。

指定オイルの使用

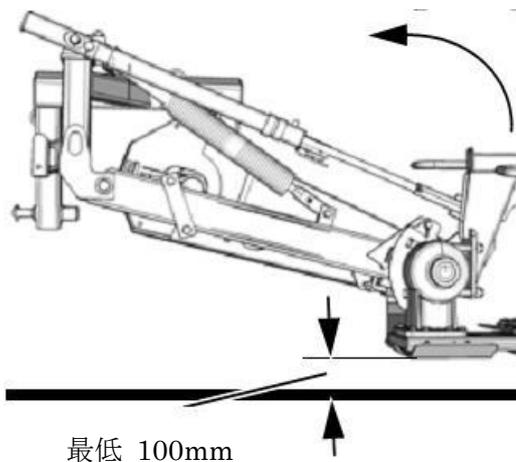
必ず、トランスミッション用の正しいオイルを使用してください。
これにより、トランスミッションを長持ちさせることができます。
不適切な種類のオイルを使用すると、トランスミッションが損傷する恐れがあります。

正規なオイルレベルの維持

ギアボックスのオイルの量は規定のオイル量を守ってください。
正しいオイルレベルはトランスミッションを長持ちさせます。
誤ったオイルレベルはトランスミッションを過熱し、大きな損傷を引き起こします。

メンテナンス

オイルの交換



季節ごと

オイルを交換する際の油量:

リットル
0.6

→「メンテナンススケジュール」P.50 参照

オイルは次のように交換されます:

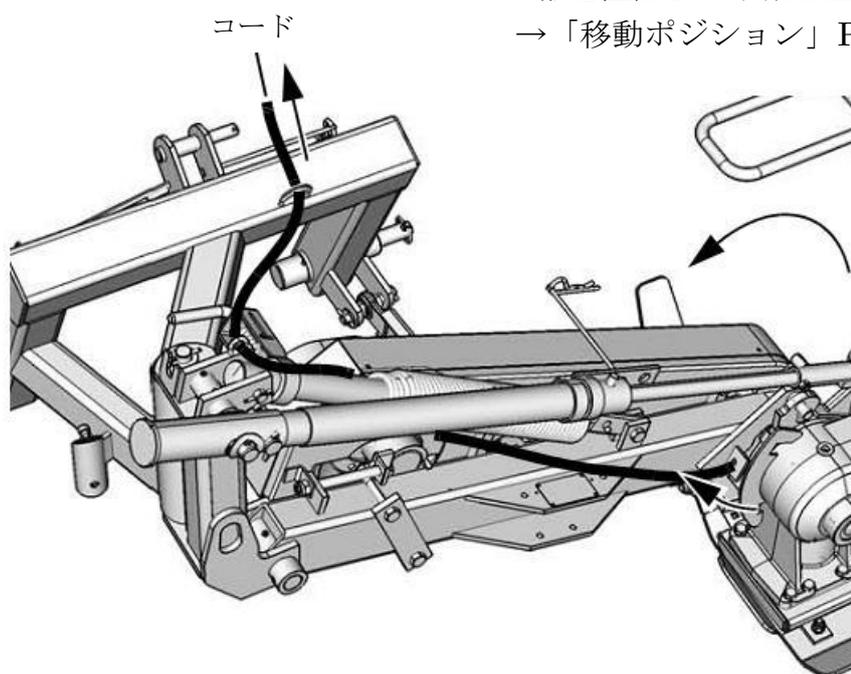
オイルの交換:

・オイルを交換する際は、本機をトラクターに取り付けて油圧ホースを本機に接続してください。

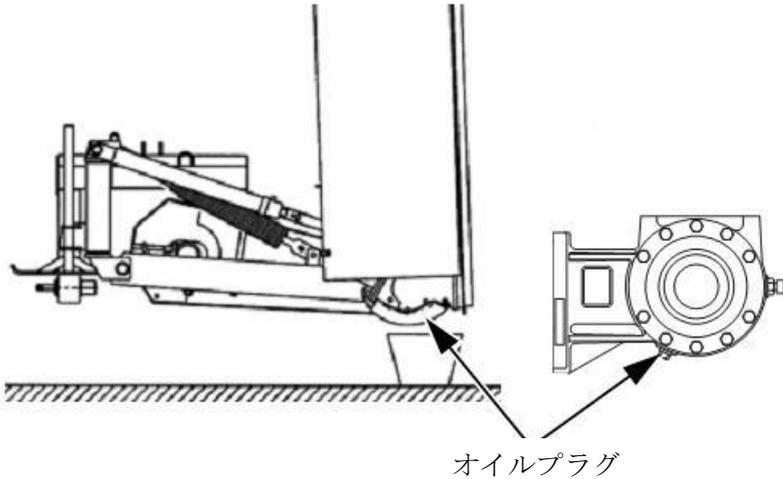
→「トラクターへの装着」P.22 参照

>輸送位置まで本機を上げてください

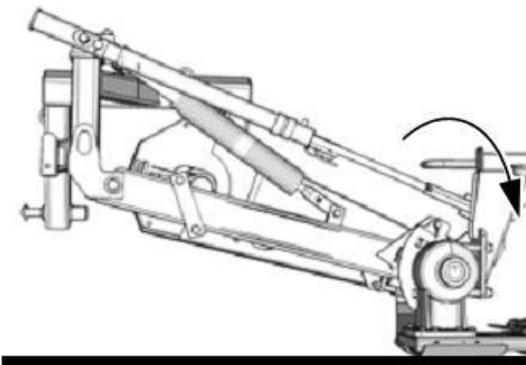
→「移動ポジション」P.32 参照



メンテナンス

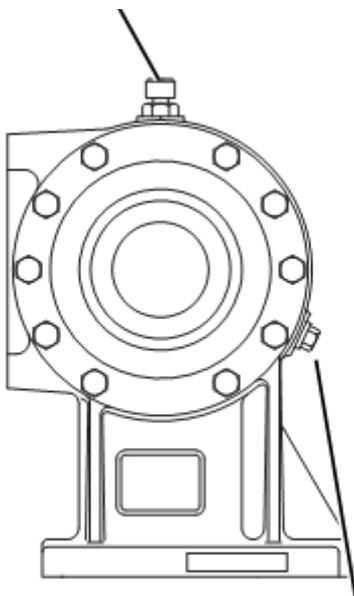


- オイルプラグを取り外すには、適切な道具を使ってください。
- 適当な容器にオイルを注入してください。
- 約10分から15分でトランスミッションから完全にオイルが排出されます。



- 作業位置までモアユニットを下げてください。

オイルプラグ 2



- オイルプラグ 2 を取り外します。
- オイルプラグ 1 の穴にオイルレベルが達するまで新たなオイルで満たされているか点検してください。
- オイルプラグ 1 と 2 を取り付けてください。

オイルプラグ 1

ナイフの交換

カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

カッターバーで作業するときは、トラクターを停止してしっかり固定してください。

これによって PTO シャフトが突然回転することを防止します。トラクターと PTO シャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

カッターバーで作業する場合：

- ・トラクターのエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの PTO を停止してください。
- ・トラクターの油圧システムが切断されていなければいけません。
- ・ハンドブレーキをかけて下さい。

定期的に本機のナイフを点検してください。

本機のナイフは定期的に点検する必要があります。

磨耗または損傷したナイフがディスク回転を不安定にさせる可能性があります。

振動は本機への損傷を引き起こす可能性があります。

→「メンテナンススケジュール」P.50 参照

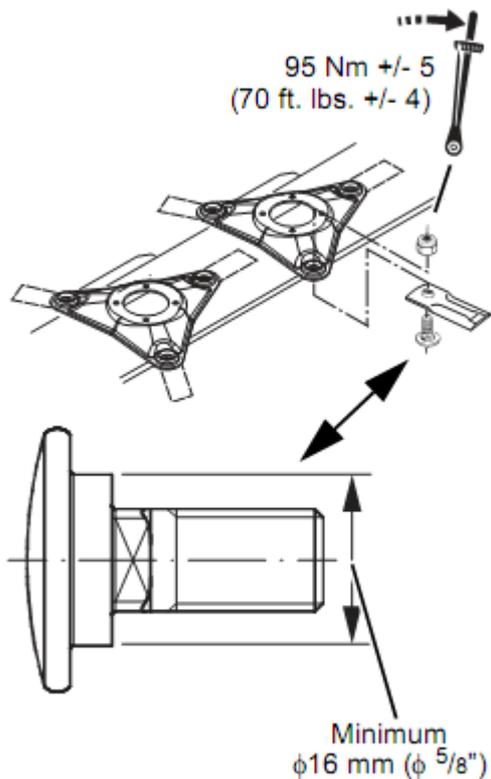


ピン

ナイフの交換

- ピンを取り外してください。
- 本機のカッターバーの周りの保護ガードを開けてください。

メンテナンス



最低 φ 16 mm

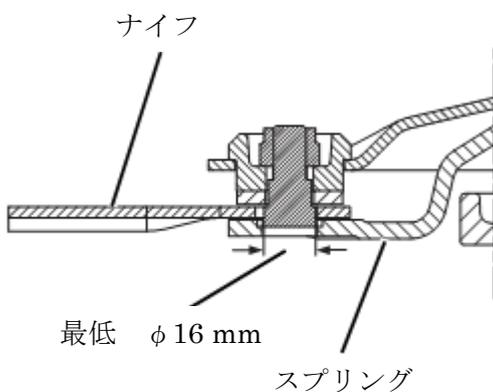
- ▶ 破損したナイフが図の位置にくるまで手でカッティングディスクを回してください。
- ▶ ボルトを取り外すために適切な道具を使ってください。
- ▶ ナイフを交換してください。
- ▶ ボルトが摩耗していないか点検してください。
- ▶ ボルトが破損または摩耗している場合は交換してください。

注意：

ボルトのナイフ取り付け部の直径は、16 mm 以上なければいけません。

ナイフとボルトを取り付けてください。

トルクレンチで 95 Nm のボルトをしっかりと締めてください。



注意：

クイックナイフ脱着装置* によって摩耗しているボルトを簡単に取り外すことができます。

*別売りオプション

→「ナイフクイックリリース」 P.86 参照

→本機のカッターバーの周りの保護ガードを閉じてください。

- ▶ ピンを取り付けてください。



ボルト

ピン

カッティングディスクの交換



カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

カッターバーで作業するときは、トラクターを停止してしっかり固定してください。

これによって PTO シャフトが突然回転することを防止します。トラクターと PTO シャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

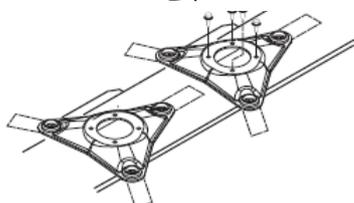
カッターバーで作業する場合：

- ・トラクターのエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの PTO を停止してください。
- ・トラクターの油圧システムが切断されていないようにしてください。
- ・ハンドブレーキをかけて下さい。

適宜



ピン



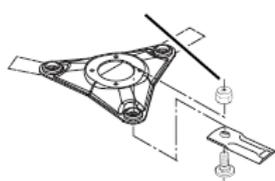
→ 「メンテナンススケジュール」 P.50 参照

カッティングディスクの交換

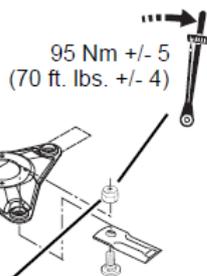
- ピンを外します。
- 機械のカッターバーの周りのガードを開きます。

- カッティングディスクをはずすには、適切な道具を使います。

Bolt



- カッティングディスクからボルトとナイフをはずします。



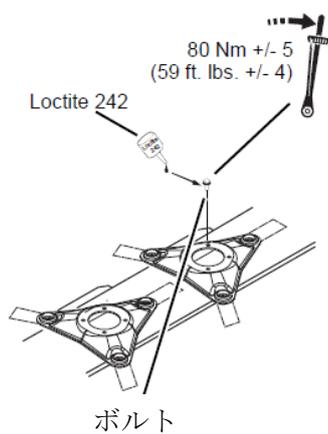
95 Nm +/- 5
(70 ft. lbs. +/- 4)

- 新しいカッティングディスクにナイフとボルトを取り付けます。

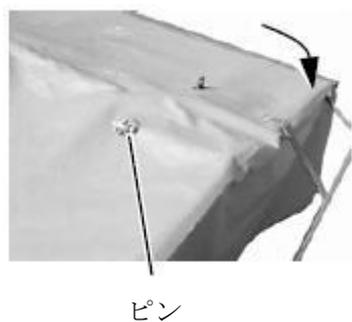
- 図のようにトルクレンチでボルトをしっかりと締めます。

ボルト

メンテナンス



- すべてのボルトにロックタイト 242 または類似の緩み止めを塗布してから締め込んでください。
- カッターバーにカッティングディスクを取り付けてください。
- トルクレンチを使って左図のようにボルトを締めてください。



- 本機のカッターバーの周りのガードを閉じてください。
- ピンを取り付けてください。

ストーンガードとカウンターナイフ



カッターバーのメンテナンス作業の注意事項

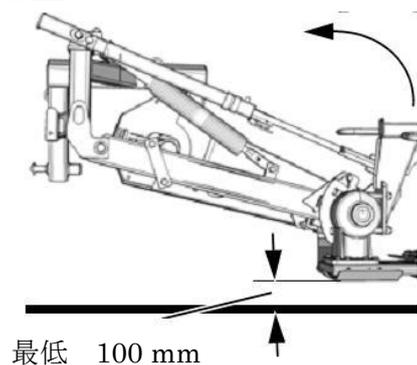
カッターバーで作業するときは、トラクターを停止してしっかり固定してください。

これによって PTO シャフトが突然回転することを防止します。トラクターと PTO シャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

カッターバーで作業する場合：

- ・トラクターのエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターの PTO を停止してください。
- ・トラクターの油圧システムが切断されていないようにしましょう。
- ・ハンドブレーキをかけて下さい。

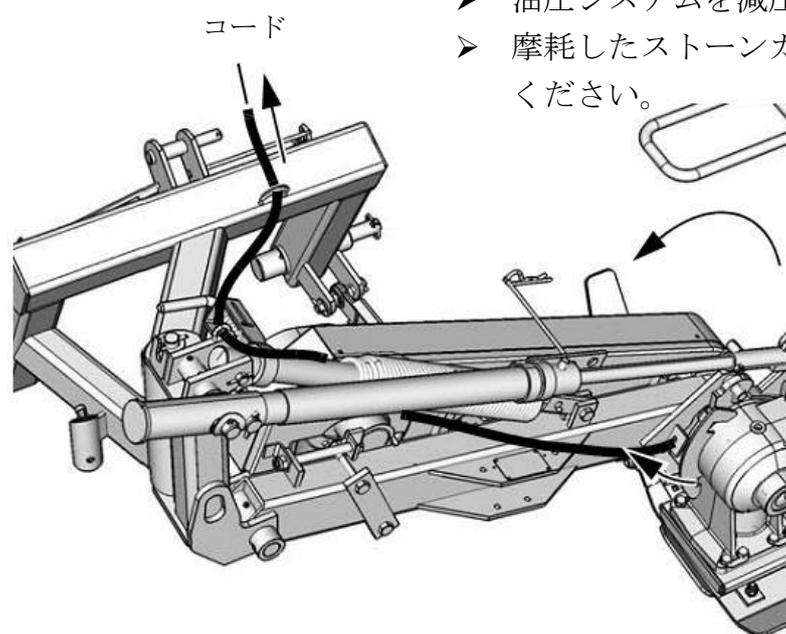
適宜



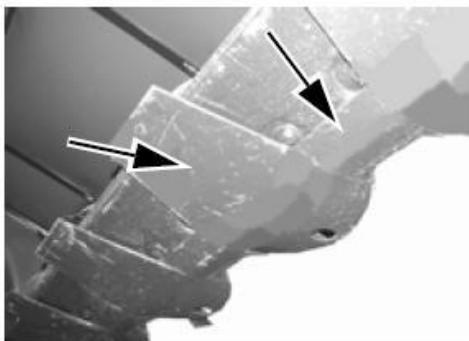
→ 「メンテナンススケジュール」 P.50 参照

ストーンガード、カウンターナイフの交換

- ▶ トラクターのリフトアームを作動させ、本機を地面から上げて下さい。
- ▶ ロープを引いてトラクターの油圧操作でモアユニットを移動位置まで上昇させて下さい。
- ▶ ロープをトラクターの油圧操作でモアユニットを半分の高さまで下げます。
- ▶ 油圧システムを減圧して下さい。
- ▶ 摩耗したストーンガードとカウンターナイフを取り外して下さい。



メンテナンス

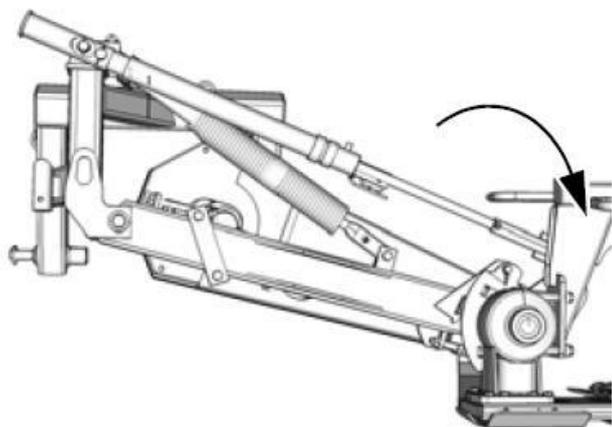


- 新しいストーンガードとカウンターナイフを取り付けます。

注意：

ストーンガードやカウンターナイフに摩耗による穴が確認できる場合は、直ちに交換してください。

- トラクターの油圧装置を作動し、作業位置まで機械を下げます。



メンテナンス

Vベルトの交換



トランスミッションのメンテナンス作業の注意事項

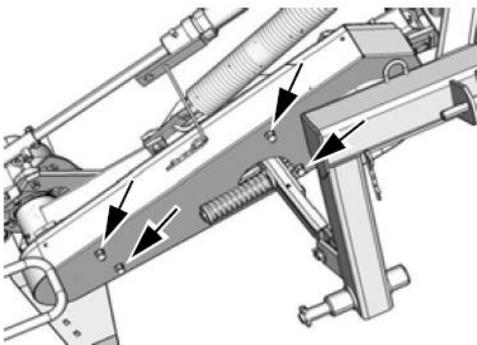
トランスミッションのメンテナンス作業の際は、トラクターを完全に停止してください。

これによってPTOシャフトが突然回転することを防止します。トラクターとPTOシャフトが規定通りに接続されていないと、大きな事故やケガにつながる危険性があります。

カッターバーで作業する場合：

- ・トラクターのエンジンを停止してください。
- ・エンジンキーを外してください。
- ・トラクターのPTOを停止してください。
- ・トラクターの油圧システムが切断されていないようにしましょう。
- ・ハンドブレーキをかけて下さい。

適宜

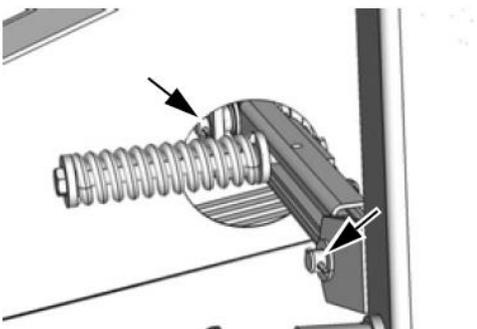


Vベルトの駆動部の動力がカッターバーにうまく伝わらなかったらVベルトを交換してください。

→「メンテナンススケジュール」P.50参照

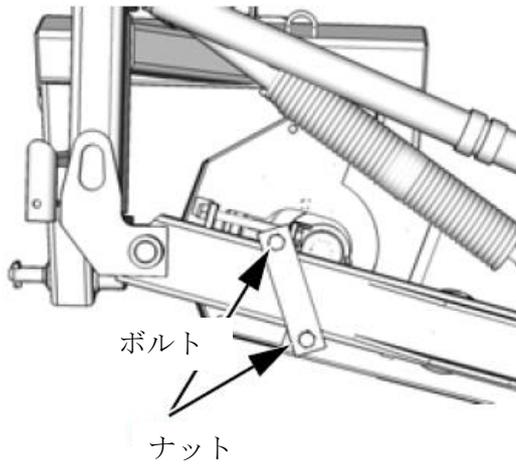
Vベルトの交換

➤ ガードを取り外すには、適切な道具を使ってください。

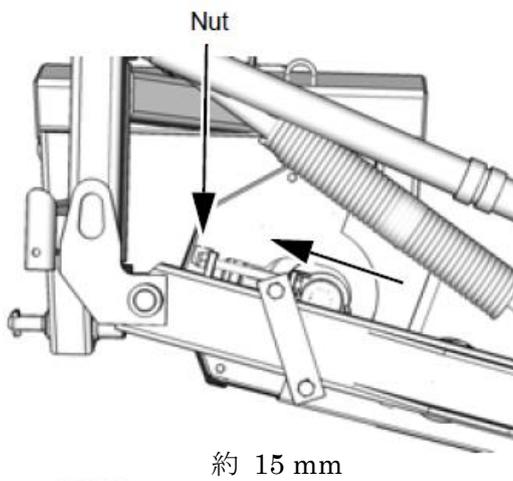


➤ スプリングキャッチを取り外します。

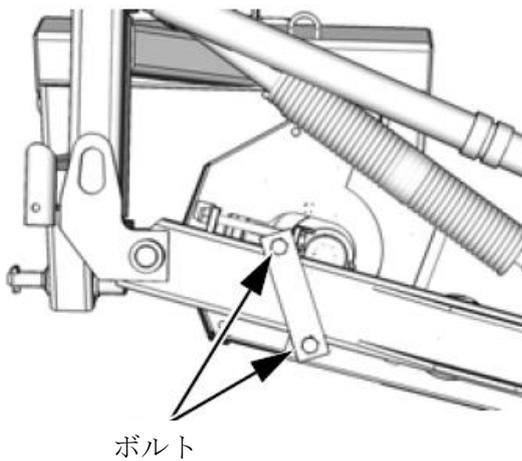
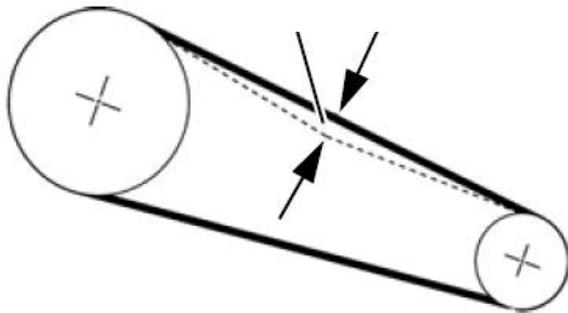
メンテナンス



- ボルトを緩めます。

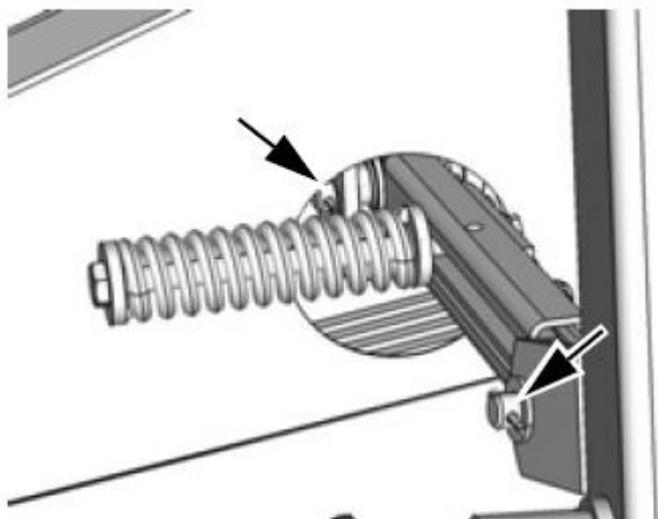


- V-ベルトがたるむまでナットを緩めます。
- 古いVベルトを外します。
- 新しいVベルトを取り付けます。
- Vベルトが正しく締められるまで、ナットを締めます。
- 左図に示した位置でVベルトを押して約15mmの遊びがあることを確認してください。

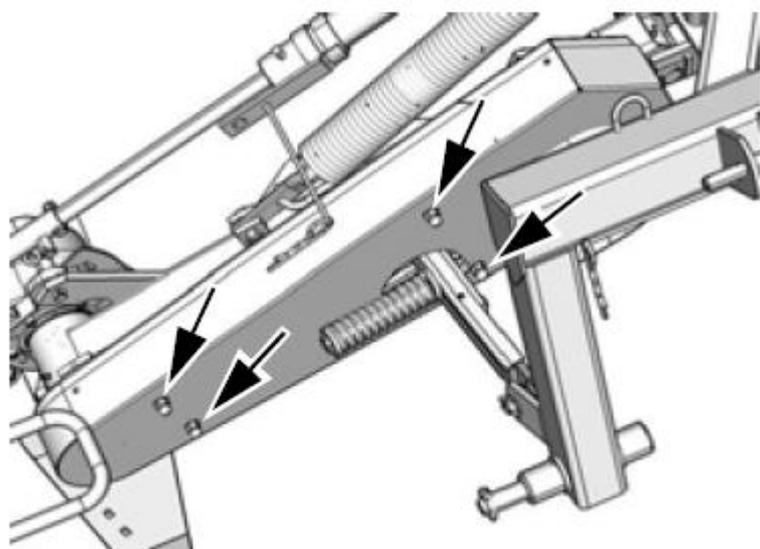


- ボルトを締めてください。

メンテナンス



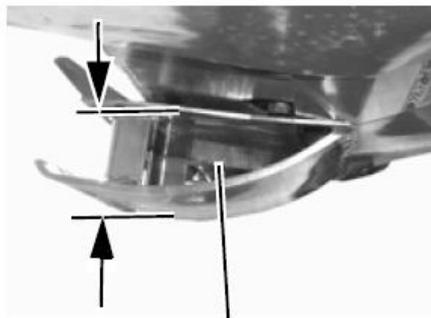
- ▶ スプリングキャッチを取り付けてください。



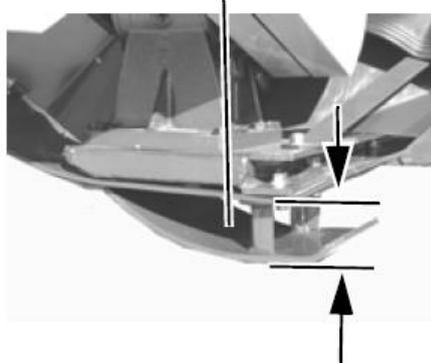
- ▶ ガードを取り付けてください。

別売りオプション

ハイスキッド



ハイスキッド



より高い切り株の高さが必要ならば機械はハイスキッドを装備することができます。

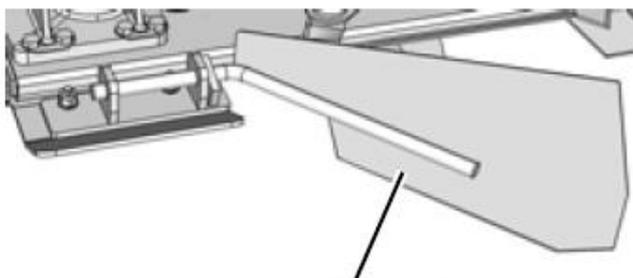
スキッド高さ

- ・ 20mm
- ・ 40mm
- ・ 80mm

ハイスキッドは多くの石または凹凸がある不揃いな圃場に適しています。

切り株の高さ	注記
25～70mm	20mmのスキッド
50～100mm	40mmのスキッド
100mmまたは100mm以上	80mmのスキッド

スワースボード

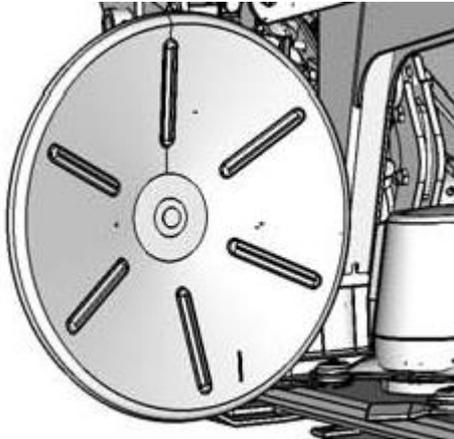


スワースボード

カッターバーの左側にスワースボードを装着することで、刈り草の刈り幅を中央に寄せ集めます。

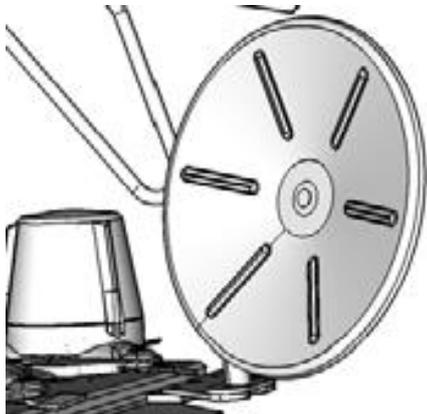
スワースローラー

左側



カッターバーの左側にスワースローラーを取り付けることができ、それによって刈り草を中央に集めることができます。

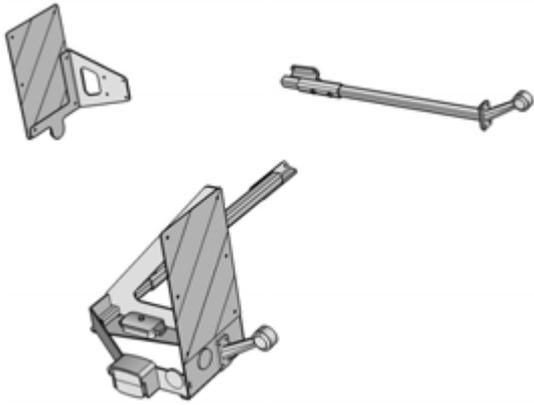
右側



カッターバーの右側にスワースローラーを取り付けることができ、それによって刈り草を中央に集めることができます。

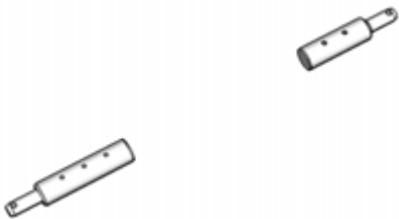
照明キット

反射板と走行灯を装着することができます。

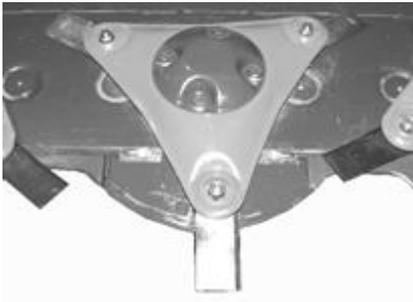


カテゴリ 1&2 リンケージピン(EX122/124)

EX122/124 は、カテゴリ 1 と 2 のリンケージピンを取り付けることができます。

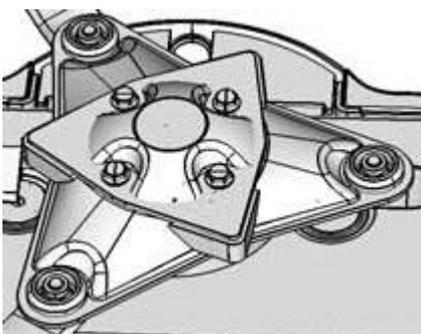


ナイフクイックリリース



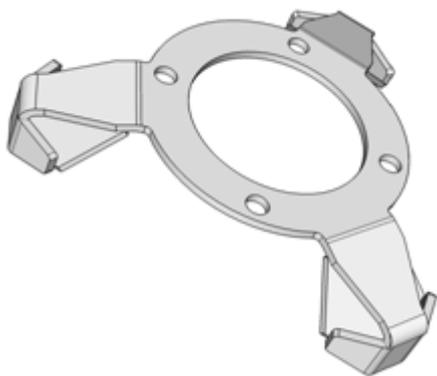
この装置を三角ディスクの下に装着することで、ナイフを簡単に交換することが可能になります。

クロープキャリア



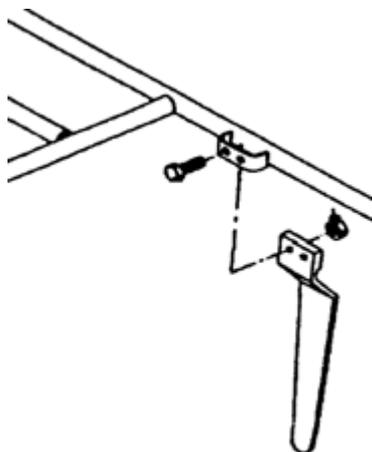
丘陵地帯のカッティングディスク全体の作物の流れを助けるためにキャリアのセットを装備することができます。

ナイフストップ



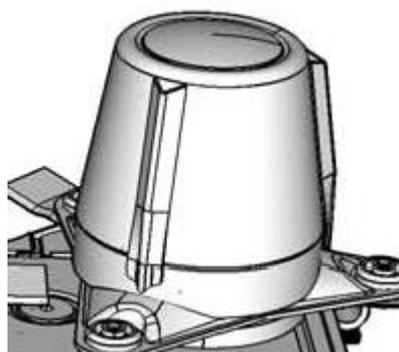
カッティングディスクに装着することでナイフの揺動をロックする装置を取付けることができます。装置はカッティングディスクの下に装着されます。

保護ガードの補強サブフレーム



モアユニットを覆う保護ガード下端をしっかりと保持するためのサブフレーム。これにより、飛散する石などが直接刃に接触することを防ぎます

コーン 左側



カッターバー上を通る作物のながれを補助するコーンを左端のカッティングディスクに装着することができます

カッターバー

問題	原因	対策
ディスクモアの設定が変更された	トラクターのロワーリンクが自動的に固定位置に維持されない	チェーンを取り付け、ディスクモアのサスペンションを定位置に維持してください
トラクターのロワーリンクで持ち上げる時にディスクモアがかなり下に垂れ下がる	サスペンションの作動高さが不正確	サスペンションの作動高さを確認してください
刈り取り作物のスワスが正しく設置されない	スワスローラー ² またはスワスボード ² の問題	スワスローラー ² をスワスボード ² に、またはその逆に変更してください
刈り株が不均一	走行が遅すぎる	走行速度を上げてください
	トラクターのPTO回転数(rpm)が低すぎる	PTO回転数を確認してください。575rpmを超えないようにしてください
	ナイフが鈍くなっている、またはナイフのいくつかが欠落している	ナイフをひっくり返して使用する、または交換してください
	Vベルトのテンションが不適切	Vベルトのテンションを確認してください
	Vベルトが磨耗している	Vベルトを交換してください
刈り跡が縞状に残る ¹	カッターバーが問題の作物に対して正しい角度で作動している	カッターバーの角度を調整してください
	カッターバーにハイスキッド ² が取り付けられている	ハイスキッド ² を取り外してください。 注意！ 石の多い圃場はハイスキッドが有効です
	カッティングディスクに作物が堆積する	走行速度を上げてください
シードグラスを刈り取る場合ロスが多い	コーンの負荷が大きすぎる	コーンを取り外し、ストローディバイダー ² と左スワスボード ² を取り付けてください
カッターバーが異常に過熱する	カッターバーのオイルが多すぎる	カッターバーのオイルレベルを点検してください
	オイルの種類が不適切	正しい種類のオイルと交換してください

PTO シャフト

問題	原因	対策
PTOシャフトのノッキング	トラクターとディスクモア間のトップリンクが短すぎる(低い刈り高さ)	トップリンクを長くしてください

1 縞状の刈り跡は天候の良くない時や一番草を刈り取る場合に発生しやすくなります。上記の条件で作業する場合は、必ずカッティングディスクのナイフがよく切れることを確認してから作業してください。また、モアユニットの傾きを変えてみることで縞状の刈り跡がなくなる場合もあります。トップリンクの長さを変えた時は、PTO シャフトの位置が下がりすぎないようにしてください。

2 別売りオプション

技術情報

換算表

基本単位	SI単位	変換値
長さ	1m	39.4in = 3.3ft = 1.1yd = 0.00062milles(US)
面積	1m ²	1.2yd ² = 10.8ft ² = 0.00025acre = 0.0001ha
体積	1dm ³ (1l)	61in ³ = 0.035ft ³ = 0.22gallons(lmp) = 0.26gallons(US)
早さ	1m/sec	3.6km/h = 2.24mph = 3.28ft/sec
力量	1N	0.10kp = 0.22lbf
馬力	1kW	1.36hp = 102kpm/sec
重さ	1kg	2.2lb = 0.0197cwt = 35oz
トルク	1Nm	0.102kpm = 8.8lb-in = 0.74ft/lb.
圧力	1bar	0.01atm.(kp/cm ²) = 0.14psi
R.P.M		min ⁻¹ =revolutions/min=rpm

オイルの種類

サプライヤー	カッターバー用トランスミッションオイル (3000rpm用)	歯車用トランスミッションオイル (540-1000rpm)	グリス
BP	Energear SHX-M 75W-90	ergear Hypo 80W-90	Energrease L 21 M
CASTROL	EP 80W	EPX 80W/90	Castrol Entrepreneur Grease
STATOIL	Gearway G4 80W-90	Gearway G4 80W-90	CreaseWay CaH 81
Q8	T35 80W	T 55 80 W/90	Rembrandt EP1
MOBILE OIL	Mobilube HD GX-A 80W W	Mobilube 80W-90	Mobilgrease EAL 1
SHELL	Spirax GX 80 W	Spirax MB 90	Retinax HD 2 Retinax HD X2
TEXACO	Geartex EP-A 80W	Geartex EP-A 80W-90	Multifak t EP 2
OK	Gearoil GL 5 80 W	OK Gearoil GL 5 80 W-90	Compound 2

締め付けトルク表

下記の値は硬さ8.8のボルト/亜鉛メッキなどのコーティングがされていないボルト/平ワッシャーを使用していない場合の締め付けトルクです									
スレッド直径(mm)	5	6	8	10	12	14	16	20	22
Nm	5.5	10	24	47	81	128	197	385	518
ft/lb	4	7.5	18	35	60	94.5	145.5	284	382.5

この取扱説明書の中で特別に締め付けトルクが表記されている箇所以外は上記の表に従ってボルト/ナットの増し締めを行ってください。上記以外の方法が示されないなら、表の情報は有効です。